

ピラシエル棚 取付方法説明書

この説明書は、ある棚を一例として、完成までの作業方法をイラストにて説明しています。

また、ピラシエルアイテムごとにある特長も解説しています。

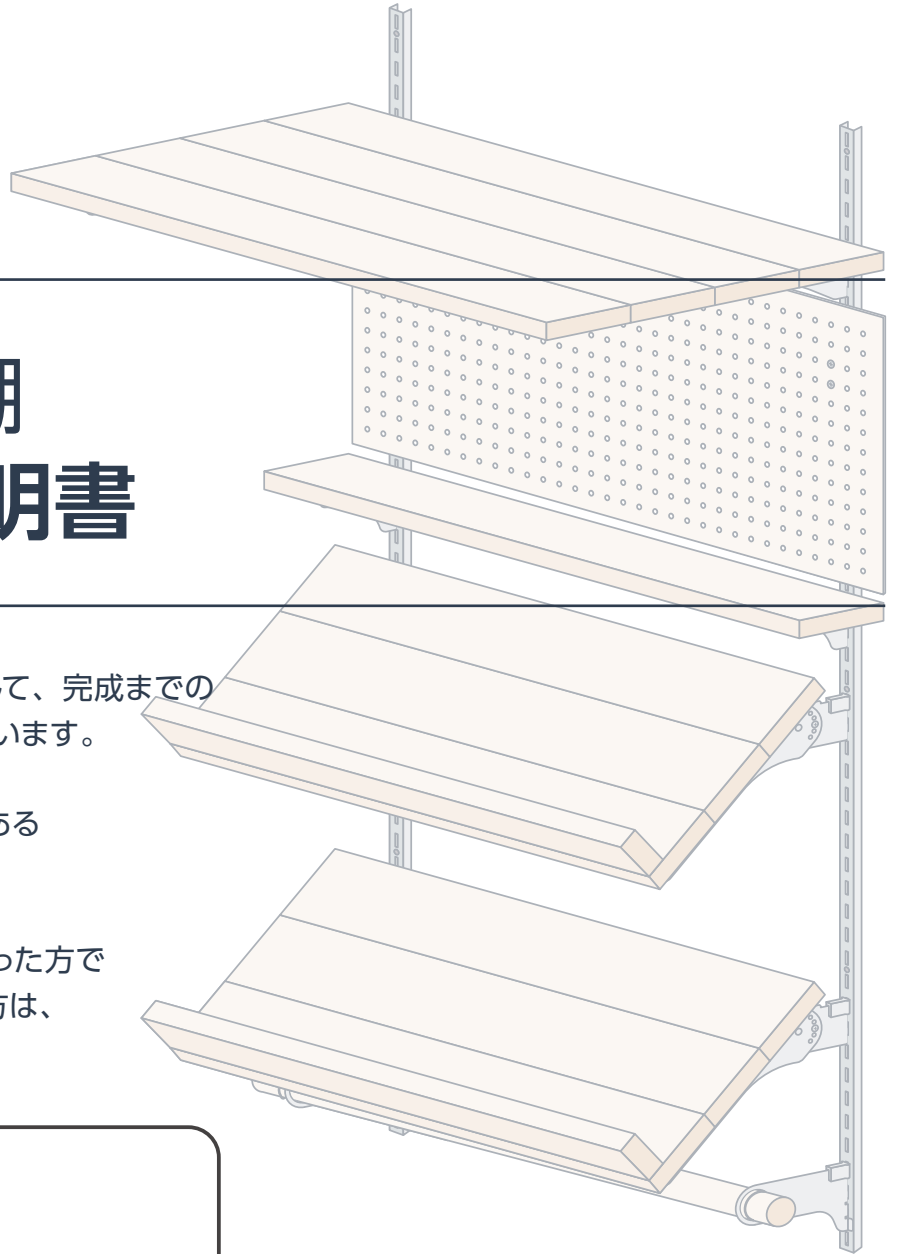
ピラシエルに興味を持ってくださった方で、作ってみたいと思っただけの方、ぜひご覧ください。

もくじ

- P. 1 ピラシエル アイテム紹介
- P. 4 今回制作する棚の紹介
- P. 5 工程はこの 5step !
 - ・ 準備するアイテムと材料
 - ・ 準備する道具
 - ・ あると便利な道具
- P. 6 購入時に気を付けることと、よくある失敗例
- P. 7 全体的なコツ
- P. 8 step 1 材料と道具を揃える
- P. 10 step 2 壁にガイドラインを引く
- P. 18 step 3 棚柱を壁に固定する
- P. 27 step 4 棚板と棚受を合体させる
- P. 33 step 5 棚受を棚柱に差し込んで完成!
- P. 34 完成!
- P. 35 使用上のご注意

pickup

- ピン止め金具を使って棚柱を取り付ける方法
→ P.18、P.21～P.26
- 棚受に棚板を取り付ける方法
→ P.27～P.30
- フリー棚受の角度変更方法
→ P.18、P.21～P.26
- ボード止めブラケットの取り付け方法
→ P.32



ピラシエル棚柱

- 棚柱はピラシエルの棚を作る上で柱になる部分で、長さは4タイプあります。
- こちらのアイテムは左右兼用です。
- ひとつの棚を作るために、基本左右同じ長さで計2本必要です。
- 付属のビスは、ビスが効く壁(木の柱や木製の壁など)に直接取り付ける場合に使用します。ピン止め金具を使って石膏ボード壁に取り付ける際には使用しません。
- また、商品ラベルに書かれた高さの寸法表記は目安で、実寸と少し異なりますのでご注意ください。

仕様

- 300mm (実寸 305mm) 幅 16mm× 奥行き 12mm
ビス穴数2個 (付属ビスφ3.5×45mm=2本付き)
- 600mm (実寸 610mm) 幅 16mm、奥行き 12mm
ビス穴数3個 (付属ビスφ3.5×45mm=3本付き)
- 900mm (実寸 914mm) 幅 16mm、奥行き 12mm
ビス穴数4個 (付属ビスφ3.5×45mm=4本付き)
- 1200mm (実寸 1219mm) 幅 16mm、奥行き 12mm
ビス穴数5個 (付属ビスφ3.5×45mm=5本付き)

左右兼用

商品名	規格 黒	JANコード 黒	規格 白	JANコード 白
ピラシエル棚柱 300mm	WPS-001	4903757317567	WPS-013	4903757320017
ピラシエル棚柱 600mm	WPS-002	4903757317574	WPS-014	4903757320024
ピラシエル棚柱 900mm	WPS-003	4903757317581	WPS-015	4903757320031
ピラシエル棚柱 1200mm	WPS-004	4903757317598	WPS-016	4903757320048

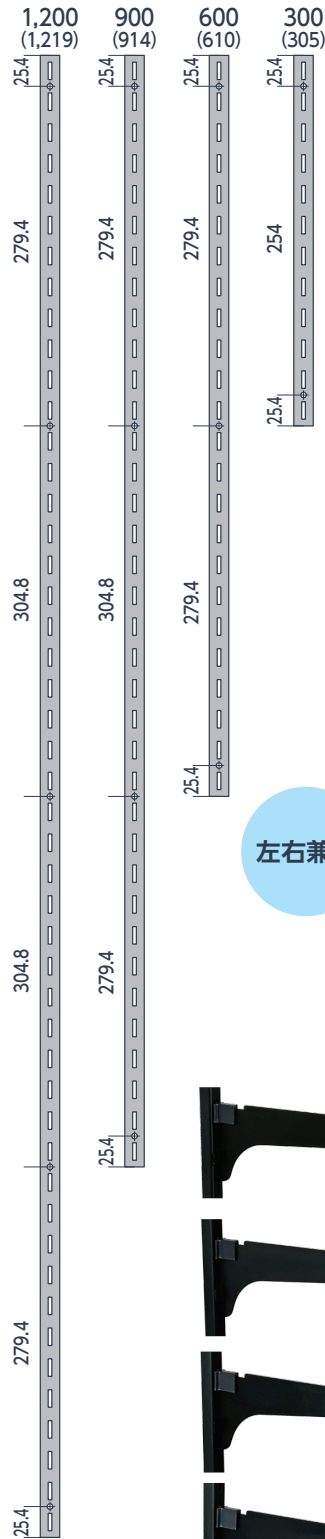
ピラシエル棚受

- この棚受は、棚板を乗せるだけで、ビスなどで固定しないタイプです。
なので、棚板の幅を左右の棚受にぴったりを設定すると棚板が乗らないので、必ず棚受から外側へ20mmは、はみ出るように棚板の幅を設定してください。
- 棚受の先には棚板落下防止の返りがついているので、棚板の奥行きサイズが決まっています。
- 棚板の厚みは決まっていますが、厚みがありすぎると重くなりますので、ピン止め金具をご使用の際は、乗せるものと合わせて耐荷重範囲内で棚板を選んでください。
- 棚受のサイズは4サイズあります (左右共通)。

仕様 (※各サイズ共通：棚板を乗せた後 5mm ほど隙間ができます)

- 150mm : H75mm × W18mm × D150mm
(棚柱に差し込んだ状態で先端までのサイズ=161mm)
棚板の推奨奥行き：150mm
- 200mm : H75mm × W18mm × D200mm
(棚柱に差し込んだ状態で先端までのサイズ=211mm)
棚板の推奨奥行き：200mm
- 250mm : H75mm × W18mm × D250mm
(棚柱に差し込んだ状態で先端までのサイズ=261mm)
棚板の推奨奥行き：250mm
- 300mm : H75mm × W18mm × D300mm
(棚柱に差し込んだ状態で先端までのサイズ=311mm)
棚板の推奨奥行き：300mm

左右兼用



商品名	規格 黒	JANコード 黒	規格 白	JANコード 白
ピラシエル棚受 150	WPS-032	4903757320147		
ピラシエル棚受 200	WPS-034	4903757320161		
ピラシエル棚受 250	WPS-036	4903757320185		
ピラシエル棚受 300	WPS-038	4903757320208		
	規格 白	JANコード 白		
ピラシエル棚受 150	WPS-031	4903757320130		
ピラシエル棚受 200	WPS-033	4903757320154		
ピラシエル棚受 250	WPS-035	4903757320178		
ピラシエル棚受 300	WPS-037	4903757320192		

1×4ピラシエル棚受



- この棚受は1×4材(W89×H19mm×長さ)を棚板にできるシリーズで、1枚用から4枚用までありますが、1枚板も使えます(厚みが15mm以上ないと付属のビスが貫通します)。また、厚みがありすぎると重くなりますので、ピン止め金具をご使用の際は、乗せるものと合わせて耐荷重範囲内で棚板を選んでください。
- 1×4ピラシエル棚受は、左用と右用があり、1段棚を作るには左右で1セット購入する必要があります。
- また、1枚板で作る場合、棚受の先端から飛び出る長さを、1枚用は30mmまで、2~4枚用は50mm以内に抑えてください。
- この棚受には棚板を固定するビスが付属されています。

仕様

- 1×4材棚受 1枚用 左用、右用：W20mm × H53mm × D84mm (サイズは左右共通) (付属ビス：Φ3.5×16mm=2本付き)
- 1×4材棚受 2枚用 左用、右用：W20mm × H53mm × D167mm (サイズは左右共通) (付属ビス：Φ3.5×16mm=4本付き)
- 1×4材棚受 3枚用 左用、右用：W20mm × H53mm × D256mm (サイズは左右共通) (付属ビス：Φ3.5×16mm=6本付き)
- 1×4材棚受 4枚用 左用、右用：W20mm × H53mm × D345mm (サイズは左右共通) (付属ビス：Φ3.5×16mm=8本付き)

※Dの寸法に棚柱へ差し込む部分は含まれていません

商品名	規格 黒	JANコード 黒	規格 白	JANコード 白
1×4ピラシエル棚受1枚用 右	WPS-005	4903757317604	WPS-017	4903757320055
1×4ピラシエル棚受1枚用 左	WPS-006	4903757317611	WPS-018	4903757320062
1×4ピラシエル棚受2枚用 右	WPS-007	4903757317628	WPS-019	4903757320079
1×4ピラシエル棚受2枚用 左	WPS-008	4903757317635	WPS-020	4903757320086
1×4ピラシエル棚受3枚用 右	WPS-009	4903757317642	WPS-021	4903757320093
1×4ピラシエル棚受3枚用 左	WPS-010	4903757317659	WPS-022	4903757320109
1×4ピラシエル棚受4枚用 右	WPS-041	4903757326903	WPS-043	4903757326927
1×4ピラシエル棚受4枚用 左	WPS-042	4903757326910	WPS-044	4903757326934

ピラシエル フリー棚受



- 角度を5段階で調整可能な棚受です。付属のねじとナットで好みの角度に固定。これにより通常の棚板にとどまらずシューズラック等の作成など、アイデア次第で幅広く活用できます。
- 棚板は1×4材を基本とし、1枚板も使えます(厚みが15mm以上ないと付属のビスが貫通します)。また、厚みがありすぎると重くなりますので、ピン止め金具をご使用の際は、乗せるものと合わせて耐荷重範囲内で棚板を選んでください。
- 注意点は左用と右用があり、1段棚を作るには左右で1セット購入する必要があります。
- 1枚板で作る場合、棚受の先端から飛び出る長さを50mm以内に抑えてください。
- この棚受には棚板を固定するビスが付属されています。

仕様

- フリー棚受 左用、右用：W20mm × H55mm × D256mm (サイズは左右共通) (付属ビス：Φ3.5×16mm=6本付き、角度調整用ねじ、ナット=各1個付き)

※Dの寸法に棚柱へ差し込む部分は含まれていません

商品名	規格 黒	JANコード 黒	規格 白	JANコード 白
ピラシエルフリー棚受 右	WPS051	4903757345898	WPS053	4903757345911
ピラシエルフリー棚受 左	WPS052	4903757345904	WPS054	4903757345928

パイプ用ブラケット

- ブラケットにパイプを通したら、ハンガーを掛ける収納が可能になります。
- Oリングが付属されているので、ブラケットからパイプが抜けるのを防ぎます。
- パイプ穴径：φ32mm
- こちらのアイテムは左右兼用です。

左右兼用

仕様

- パイプ用ブラケット 100：W18mm × H72mm × D100mm
(支柱から棚受け先端までは 121.5mm) (付属：Oリング=1本付き)
- パイプ用ブラケット 300：W18mm × H72mm × D300mm
(支柱から棚受け先端までは 288.5mm) (付属：Oリング=1本付き)

商品名	規格	規格 黒	JANコード 黒	規格 白	JANコード 白
パイプ用ブラケット 100	32φ	WPS-045	4903757326941	WPS-046	4903757326958
パイプ用ブラケット 300	32φ	WPS-012N	4903757320604	WPS-024	4903757320123



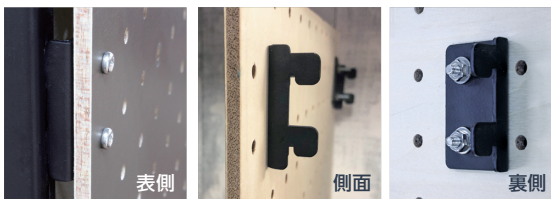
ボード止めブラケット

- 棚柱に有効ボードや化粧板などを取り付ける際に使用する金具です。
- 棚を設置した下に有効ボードを取り付けるなどすると収納の工夫が広がります。
- 金具と板を固定するには、別途 M3 のねじセット (ねじ × 長さ 15mm、ナット、ワッシャー) を4セットご用意ください。

仕様

- ボード止めブラケット：W30mm×H45mm×D8.5mm (棚柱から出ている寸法)
左右1セット入り

商品名	規格	規格 黒	JANコード 黒	規格 白	JANコード 白
ボード止めブラケット 2個入		WPS-011	4903757317666	WPS-023	4903757320116



ピラシエル専用 ピン止め金具

- ピラシエル棚柱を石膏ボード壁に取り付けるためのアイテム。
- 取り付けられる場所：
クロス貼りの石膏ボード壁 (9.5mm 以上の厚み)、薄ベニヤ (5mm 以上)
- 耐荷重：棚1枚で 5kg まで。全体で 20kg まで (ビス止めの場合と異なりますのでご注意ください)
- 付属のビスが 白用 と 黒用 がありますので、棚柱と同じ色のものをご購入ください。
- 同封の石こうピンは必要数より多めに入っています。
(ピン止め金具 2個入は約 20本入、10個入は約 100本入)
- ピラシエル棚柱の長さ別 ピン止め金具必要数
棚柱 300mm 1本→2個、棚柱 600mm 1本→3個、
棚柱 900mm 1本→4個、棚柱 1,200mm 1本→5個

ラインナップ

- ピン止め金具 黒用 2個入り
- ピン止め金具 黒用 10個入り
- ピン止め金具 白用 2個入り
- ピン止め金具 白用 10個入り

商品名	規格	JANコード
ピン止め金具 黒用 2個入	WPS-47	4903757329782
ピン止め金具 黒用 10個入	WPS-48	4903757329799
ピン止め金具 白用 2個入	WPS-49	4903757329805
ピン止め金具 白用 10個入	WPS-50	4903757329812

耐荷重

棚1枚で **5kg**
全体で **20kg**まで

※ビス止めの場合と異なりますのでご注意ください。

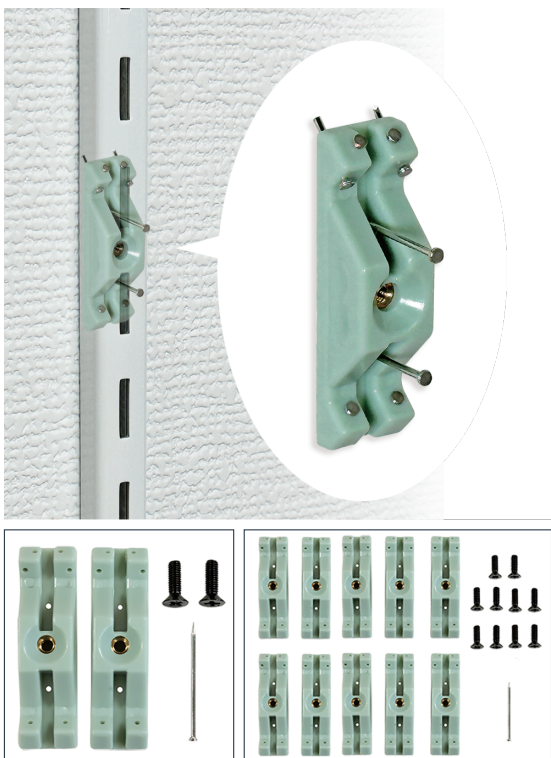
ピン止め金具の必要数

ピラシエル棚柱 300mm 2本 ▶ **4個**

ピラシエル棚柱 600mm 2本 ▶ **6個**

ピラシエル棚柱 900mm 2本 ▶ **8個**

ピラシエル棚柱 1200mm 2本 ▶ **10個**



今回作成する(説明する)ピラシエル棚はこれ! (あくまでも1例です)

いつもの靴がさっと出せてスッキリ収納!
傘もパッと使える便利な玄関収納を作ります!

使うアイテムはこれ!



棚全体のサイズ：巾900×高さ1,200×奥行き約368mm
(床からの高さは含まず)

工程はこの 5 step !

- Step 1 材料と道具を揃える
- Step 2 壁にガイドラインを引く
- Step 3 棚柱を壁に固定する
- Step 4 棚柱と棚受を合体させる
- Step 5 棚受を棚柱に差し込んで完成

準備するアイテムと材料

■ピラシエルアイテム編
(今回は黒を使います)

●ピラシエル棚柱 1,200mm : 2本

●1×4 ピラシエル棚受 4枚用
左用1本、右用1本

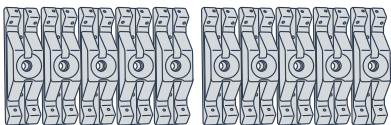
●ボード止めブラケット : 1セット

●1×4 ピラシエル棚受1枚用
左用1本、右用1本

●ピラシエルフリー棚受
左用2本、右用2本

●パイプ用ブラケット100 φ32 : 2本

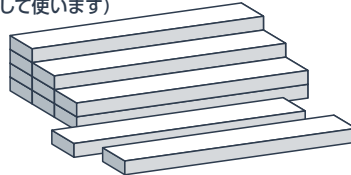
●ピン止め金具
10個入り : 1個



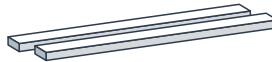
W=幅、H=高さ、D=奥行き

■その他材料

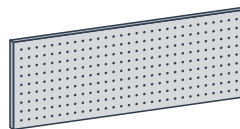
●1×4材 長さ 900mm : 計 11 本
(棚板として使います)



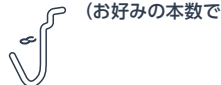
●W30×H12mm 長さ 900mm : 計 2 本
(靴を置く棚のストッパーとして使います)



●穴あきボード
W900×H300×D5.5mm : 1枚
(時計をかけたたり小物をかけたたりする板に使います)



●穴あきボード専用フック : 3~4本
(お好みの本数で)



●太さ 31.5mm、長さ 900mm の丸棒 : 1本



●棚板を塗るワックス
(好みの色で。無塗装でも OK)

●ボード止めブラケットと
穴あきボードを止めるネジセット
(サイズは M3×長さ15mm) : 4セット



●お好みで S 字フック数本
(太さ 31.5mm の丸棒に掛けられるものを選んでください)



●木工用ボンド



●靴滑り止め板を止める用ビス : 6本
(皿ネジ : サイズφ3.5×25mm)

準備する道具

●メジャー



●マスキングテープ
(色は視認しやすいものがおすすめです)



●糸の先に5円玉を結んだもの
(棚柱の垂直を正確に出すために使います。
糸の長さは棚柱の長さより2~3cm
長めが望ましい)



●正確に直角が出せる長いもの
(水平を出すために使います。例 : 30cm 以上の差し金
or 大きい三角定規 or 水平器)



●石こうピンを差し込む道具
(専用の商品もありますが、硬貨でも代用できます)

●プラスドライバー (No.2)



●キリ
(棚板にビスを打つ前の
下穴をあけるのに使います)



●脚立



●ラジオペンチ

(先が細いペンチ。仮止めの石こうピンや、
失敗した石こうピンを抜くため)



あると便利な道具

●プッシュマジック or クギ押しくん
(石こうピンを打つ時に使う道具。力が込めやすいので打ちやすい)

●小さいハンマー

(石こうピンが入りにくい場合、軽く2~3回たたくと少し入るので、その後ピンが入りやすくなります)

●クリアファイル

(水平を出す際に、大きめの直角のあるものがない場合に代用できます。硬めのものがおすすめです)

●電動ドライバー

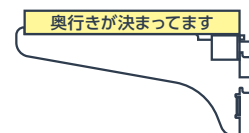
(棚板を棚受に素早くビス止めできます。ピン止め金具に付属されたねじを止める際には使わないでください)

購入時に気を付けることと、よくある失敗例

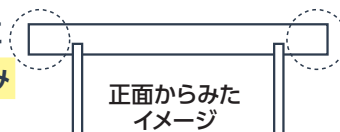
※今回使用しないアイテムも含まれています。

- ピラシエルシリーズは必ず **ピラシエル専用** の棚柱と棚受をご購入ください。

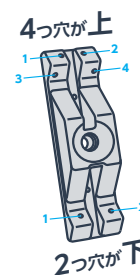
- 棚板を棚受にビス止めしないで乗せるだけの「**ピラシエル棚受**」は、乗せる棚板サイズ（奥行き）が決まっているのでよく確認してください。



- 「**ピラシエル棚受**」の棚板の横幅は、棚受から棚受までのジャストサイズにしてしまうと棚板が落ちてしまうので、**棚受より外側へ 20mm は必ずはみ出るように設計**してください。

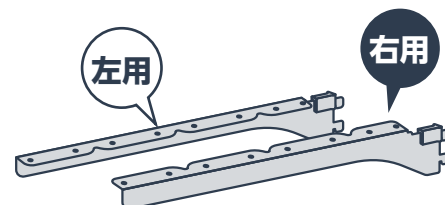


- 「**ピン止め金具**」は取り付ける際、**上下の向きが決まっています**。ピンを4本打つ方が**上**で、2本打つ方が**下**になります。

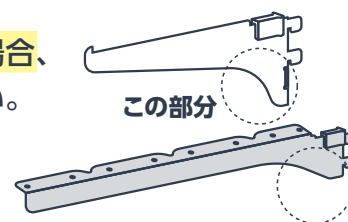


- 「**ピン止め金具**」の付属のビスには**白用**と**黒用**があります。棚柱の色に合わせてご購入ください。

- 「**1×4材棚受**」と「**フリー棚受**」には**左用**と**右用**があるので、左右合わせて1段になるようにご購入ください。



- 棚受は下にでっばっているので、**1段下に置きたいものに高さがある場合**、当たって入らないことがあるので、**当たらないように設計**してください。



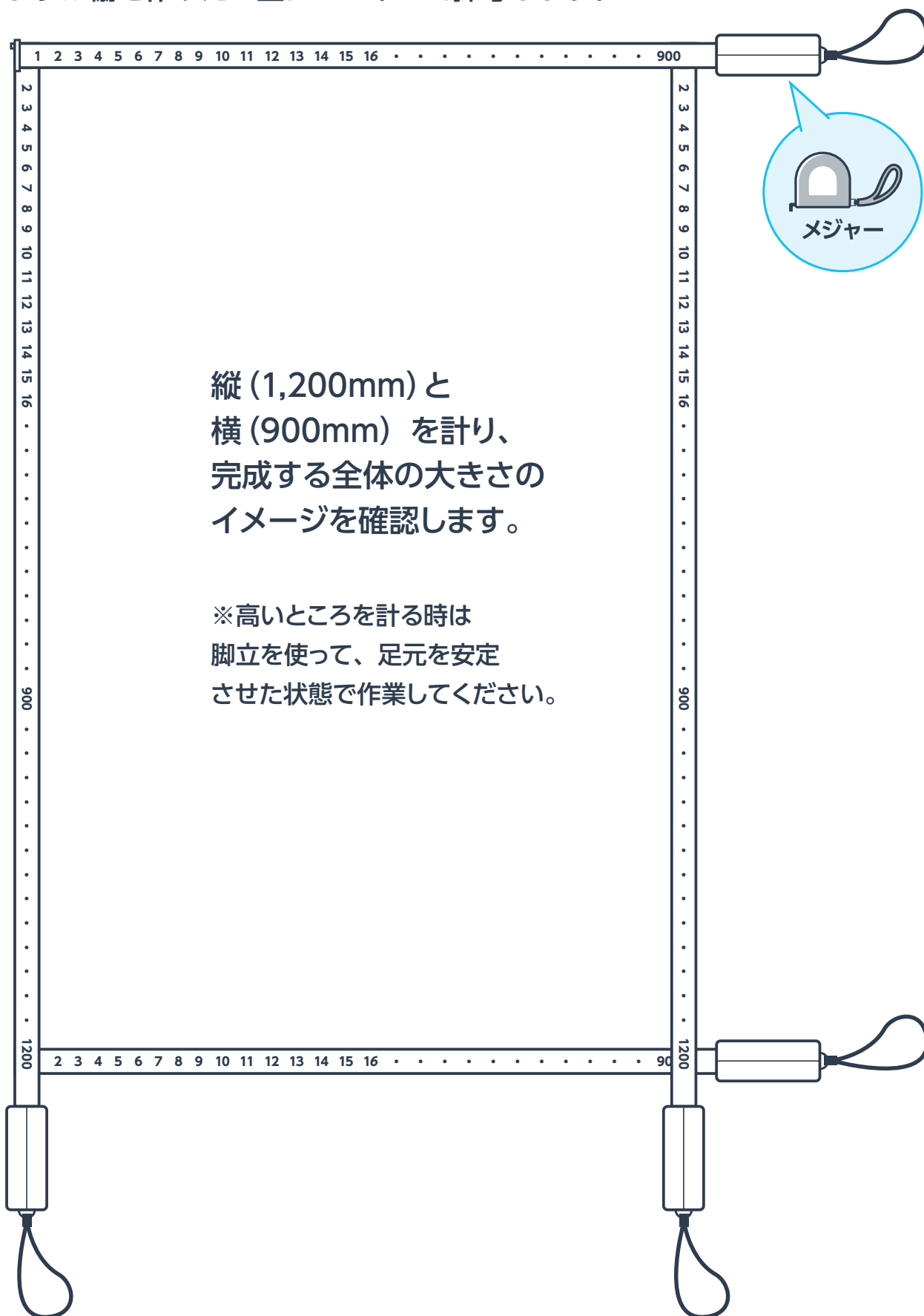
- ピラシエルシリーズは、基本的に棚の幅を 900mm までを推奨しています。棚の幅を 900mm までにするのは、『板のたわみ』を防ぐためです。これ以上広げると、荷物の重さに耐えきれず板が弓なりに曲がってしまい、最悪の場合、棚が崩れる危険があるからです。もし 900mm 以上の幅で作成したい場合は、幅に応じて棚柱と棚受けを増やして作成してください。（例：1200mm 幅なら棚柱と棚受けを1本増やして3本にする など）

全体的なコツ

- 今回の棚は全体の横幅が 900mm のものを作るにあたって、ホームセンターで初めから 900mm にカットされている 1×4 材と、W900×H300mm で販売されている穴あきボードを使用しました。そうすることで木材をカットする手間が省けました。
- ホームセンターでは、有料ですが木材をカットしてもらえるサービスがあります（できない店舗もあるので、事前に調べて行かれることをおすすめします）。自身でカットが難しい場合はぜひご活用ください。
- 材料を買う前に、大体の設計図を作っておくと必要数や作り間違い、買い忘れなどを防ぐことができます。
- マスキングテープの上なら油性マジックが書けて下に移らないので、何か目印を書きたい時に活用してみてください。

step 1 材料と道具を揃える

①まずは棚を作りたい壁にメジャーで採寸します。

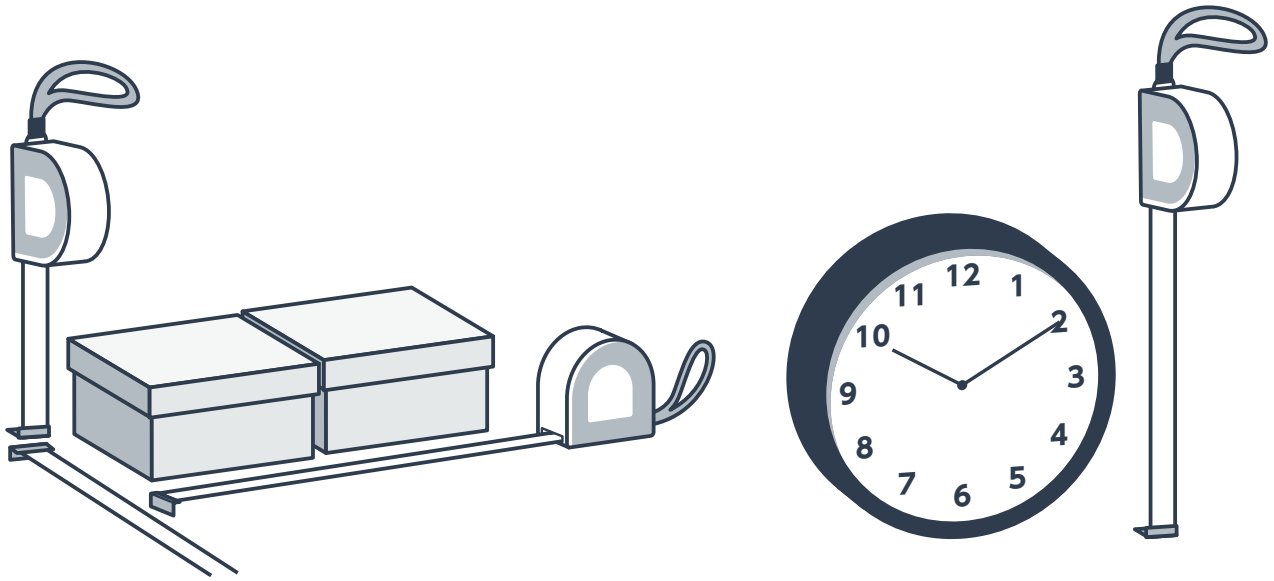


縦 (1,200mm) と
横 (900mm) を計り、
完成する全体の大きさの
イメージを確認します。

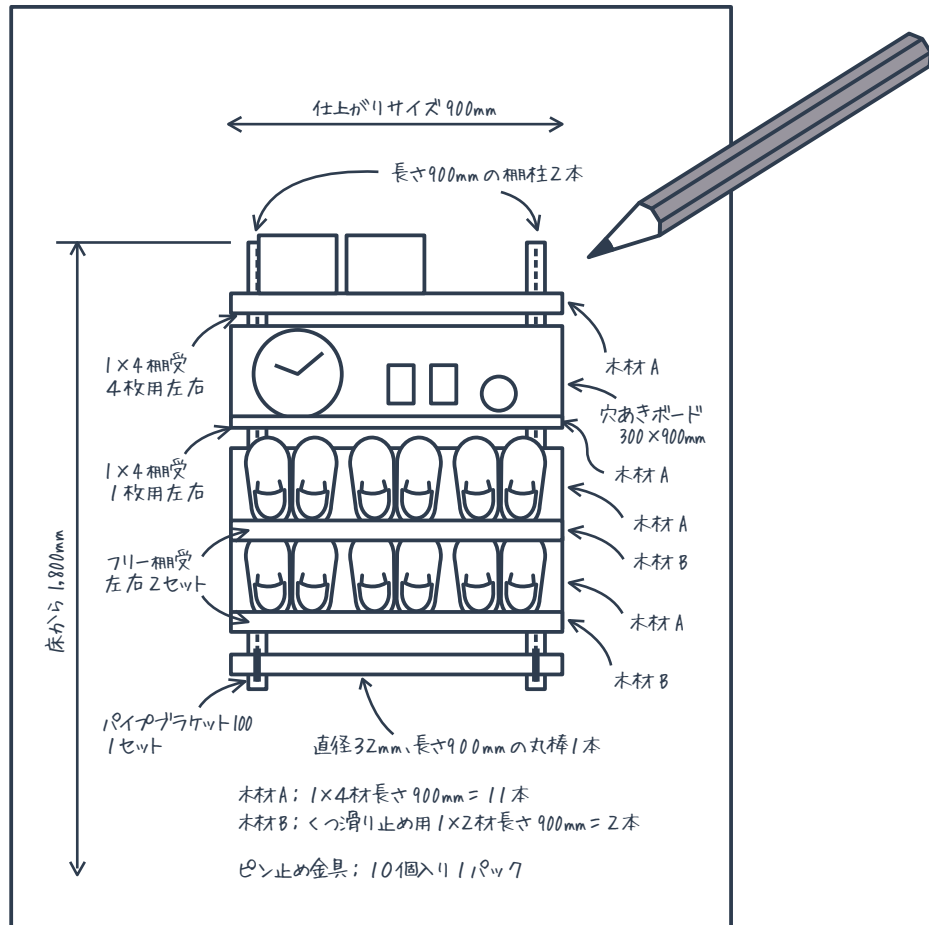
※高いところを計る時は
脚立を使って、足元を安定
させた状態で作業してください。

step 1 材料と道具を揃える

- ② サイズ的なイメージがわかれば、棚に置きたいもののサイズも計り、それぞれ必要な高さや幅、奥行きを確認しメモします。



- ③ コピー用紙でもいいので、全体的な構想を書いていきます。作りたい棚と乗せたいもののサイズと、必要なアイテムと木材(棚板)の必要数も書きます。内容を確認してから必要アイテムを購入します。



step 2 壁にガイドラインをひく(位置を決める)

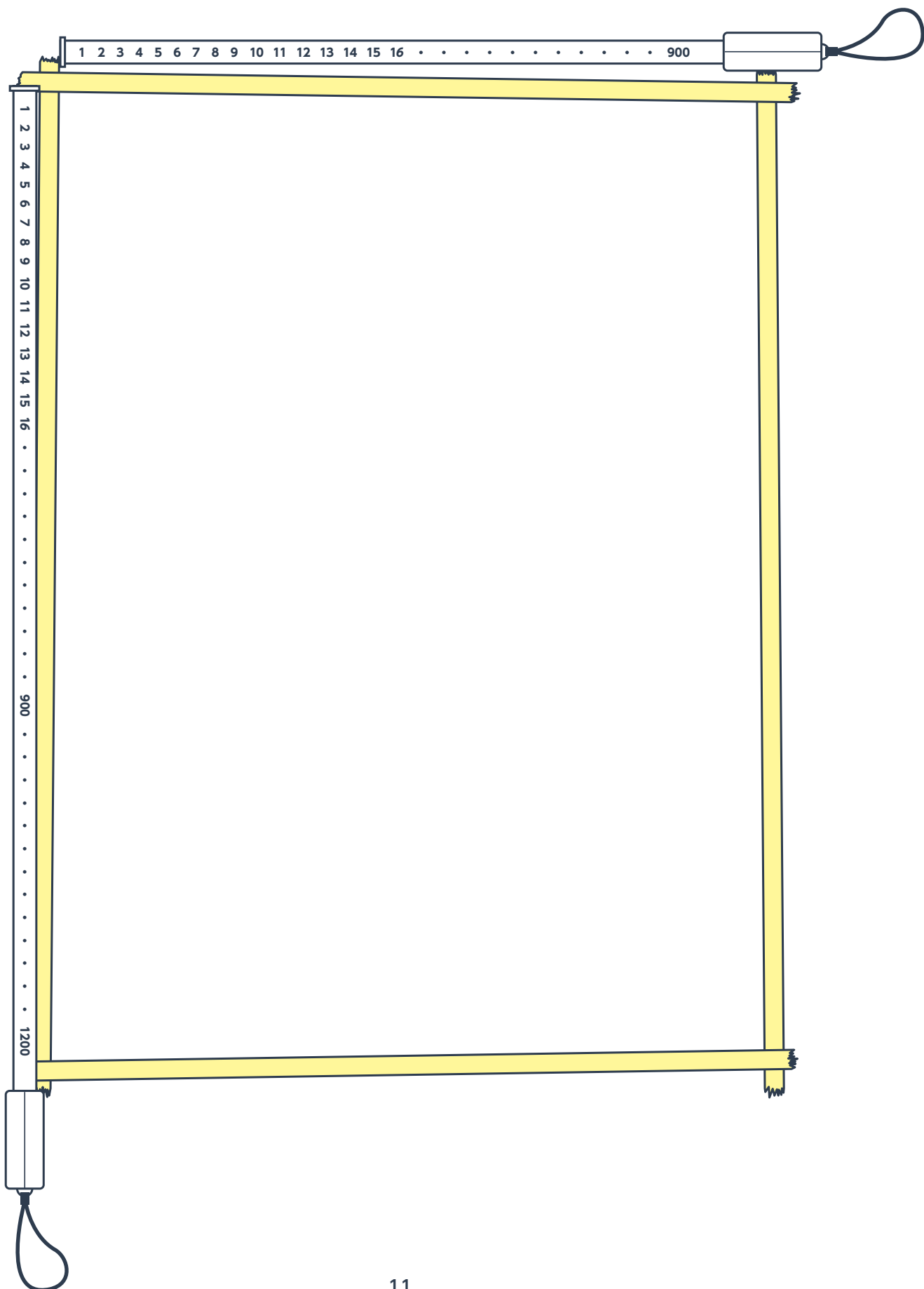
※マステ=マスキングテープ

- ①メジャーで取り付けたい位置を計りながら位置を特定し、一旦おおまかでもいいので、作りたい棚の幅の長さで上下と、棚柱の長さで左右にマステを貼ります（四角に貼るイメージ）。



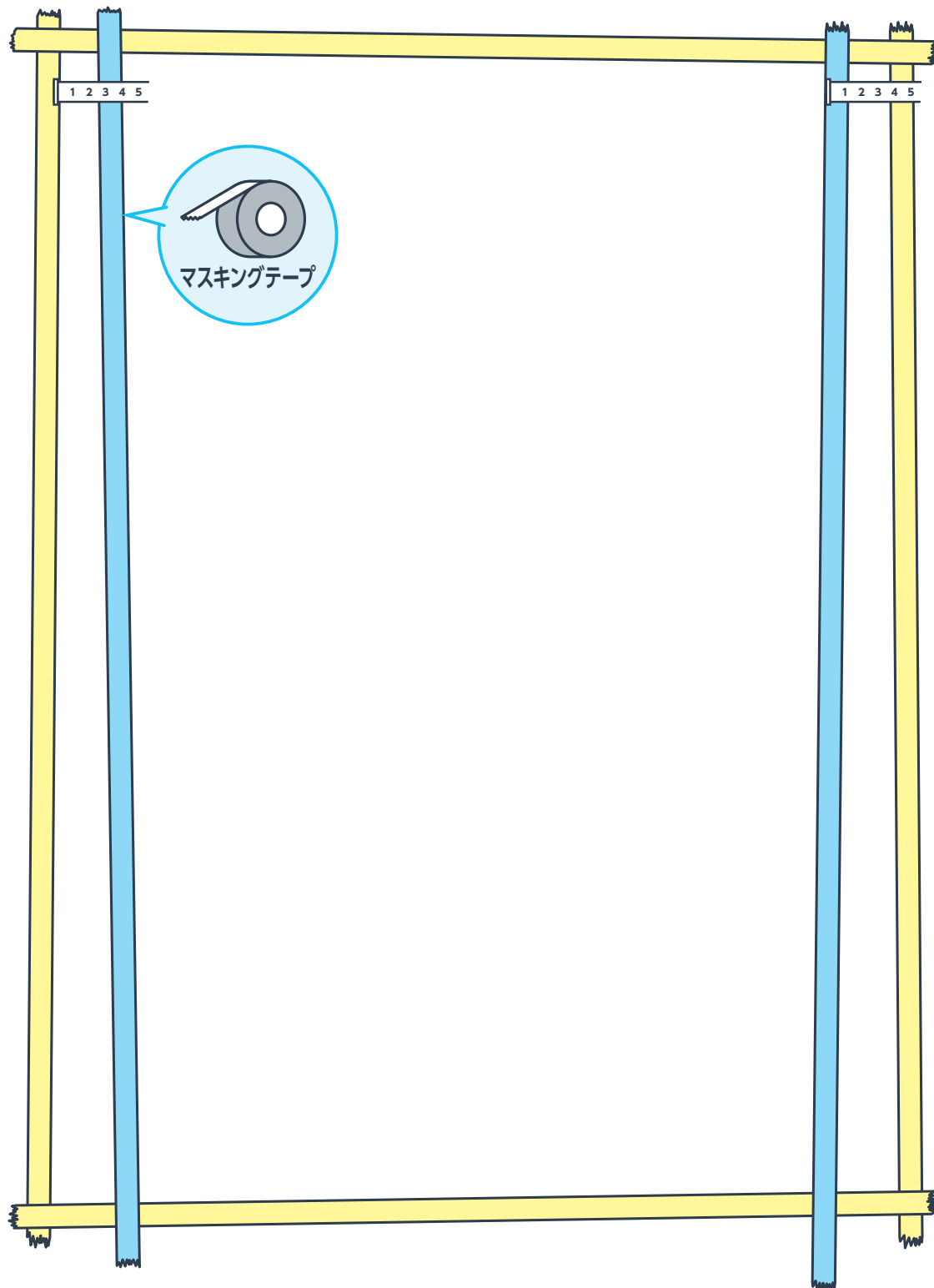
step 2 壁にガイドラインをひく

- ② 幅が 900mm、上下の高さが 1200mm になるように、メジャーで測って、イエローマステを貼り直します。



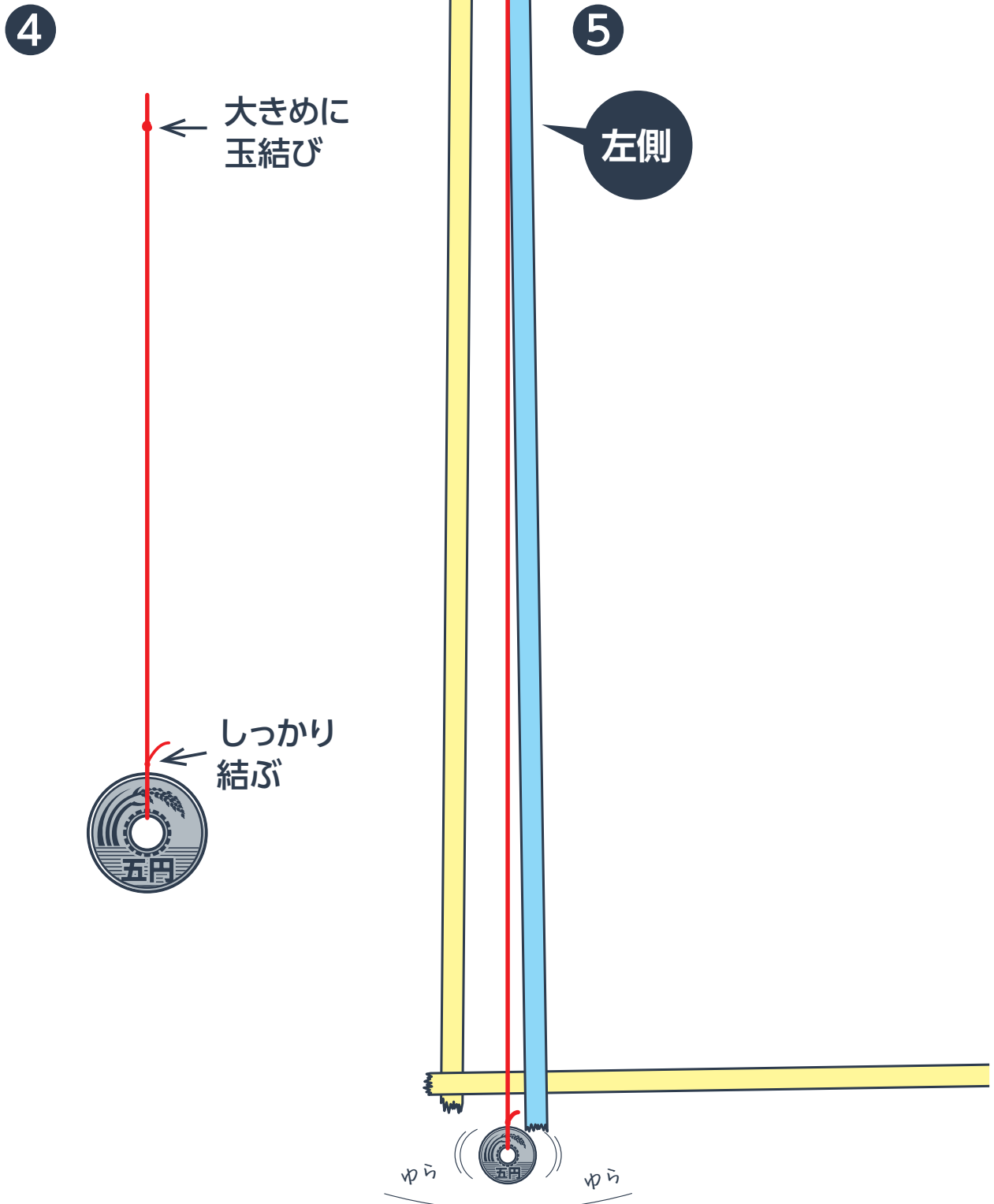
step 2 壁にガイドラインをひく

- ③ここで、棚柱を取り付ける位置を決めます。
今回はボード止めブラケットをつけるので、その幅にサイズを合わせます。
幅 900mm から 40mm、左右ともに内側に入ったところに
もう1本、棚柱と同じ長さのマステ(青)を貼ります。



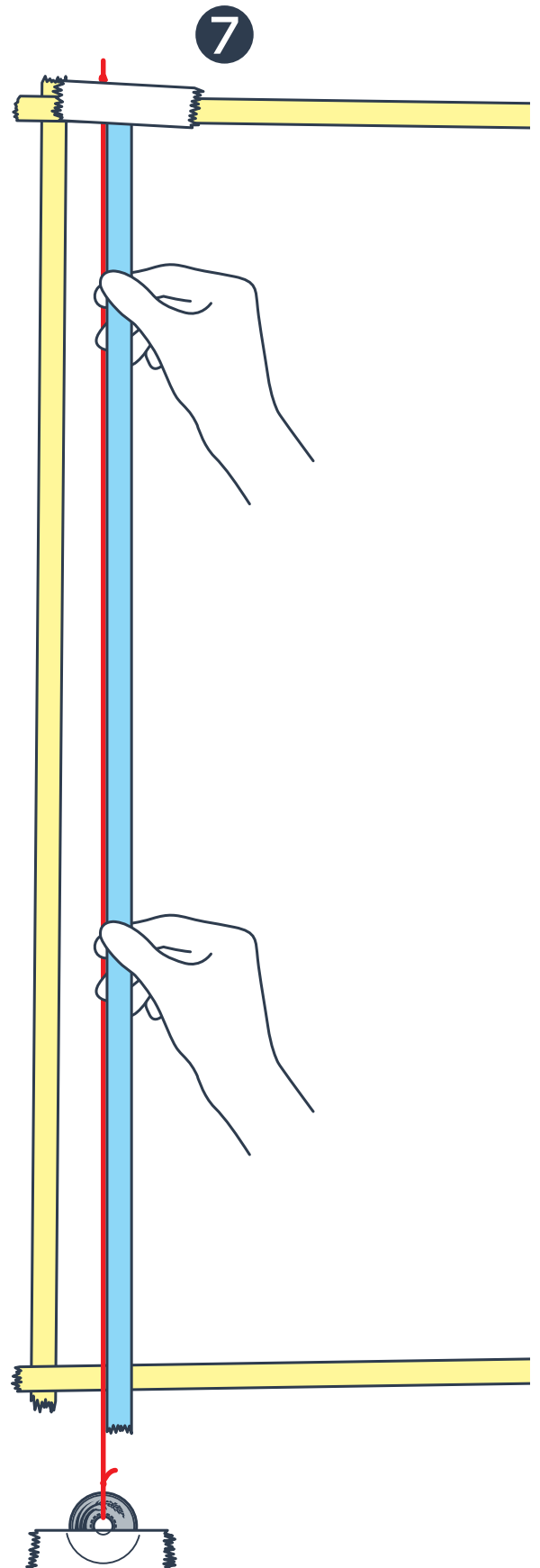
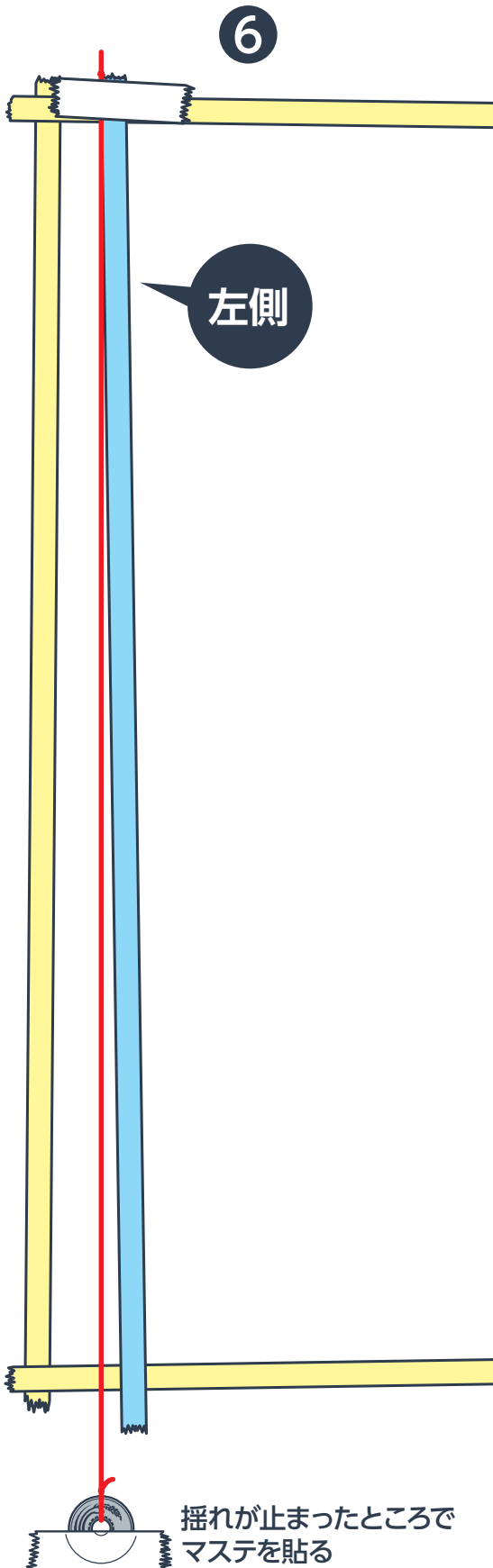
step 2 壁にガイドラインをひく

- ④ 五円玉と糸を用意し、糸の端に5円玉を結びます。
全体の糸の長さは棚柱より3cmほど長くします。
- ⑤ 取り付ける棚柱の左側を基準とし、マステの端に添わせて五円玉を結んだ糸を吊るし、5円玉が付いていない方を、落ちないようにマステで止めます。



step 2 壁にガイドラインをひく

- ⑥ 5円玉の揺れが止まる場所で5円玉の半分くらいにマステを貼って固定します。
- ⑦ その糸に添わせて左側の縦に貼ったマステを貼り直します。



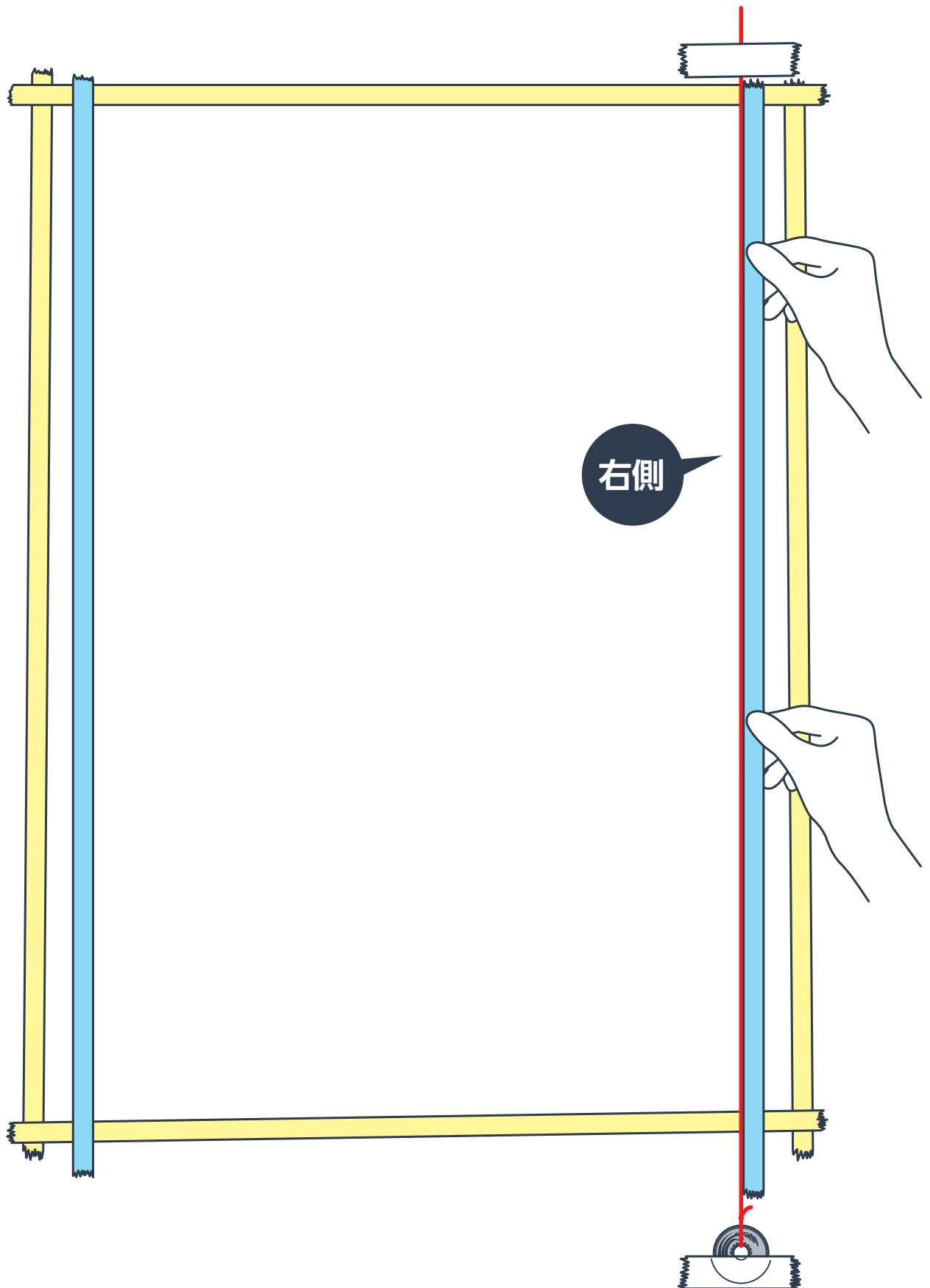
step 2 壁にガイドラインをひく

- ⑧ 垂直が出た左側のマステを利用して、左の棚柱から右の棚柱までの水平を出します。大きく直角が入っているもの(差し金 or 30cm 以上ある三角定規 or あれば水平器)を使って、左側の垂直のマステに三角定規を当てて、水平ラインを取ります。そして、あらかじめ貼っておいたマステを差し金に沿って貼り直します。



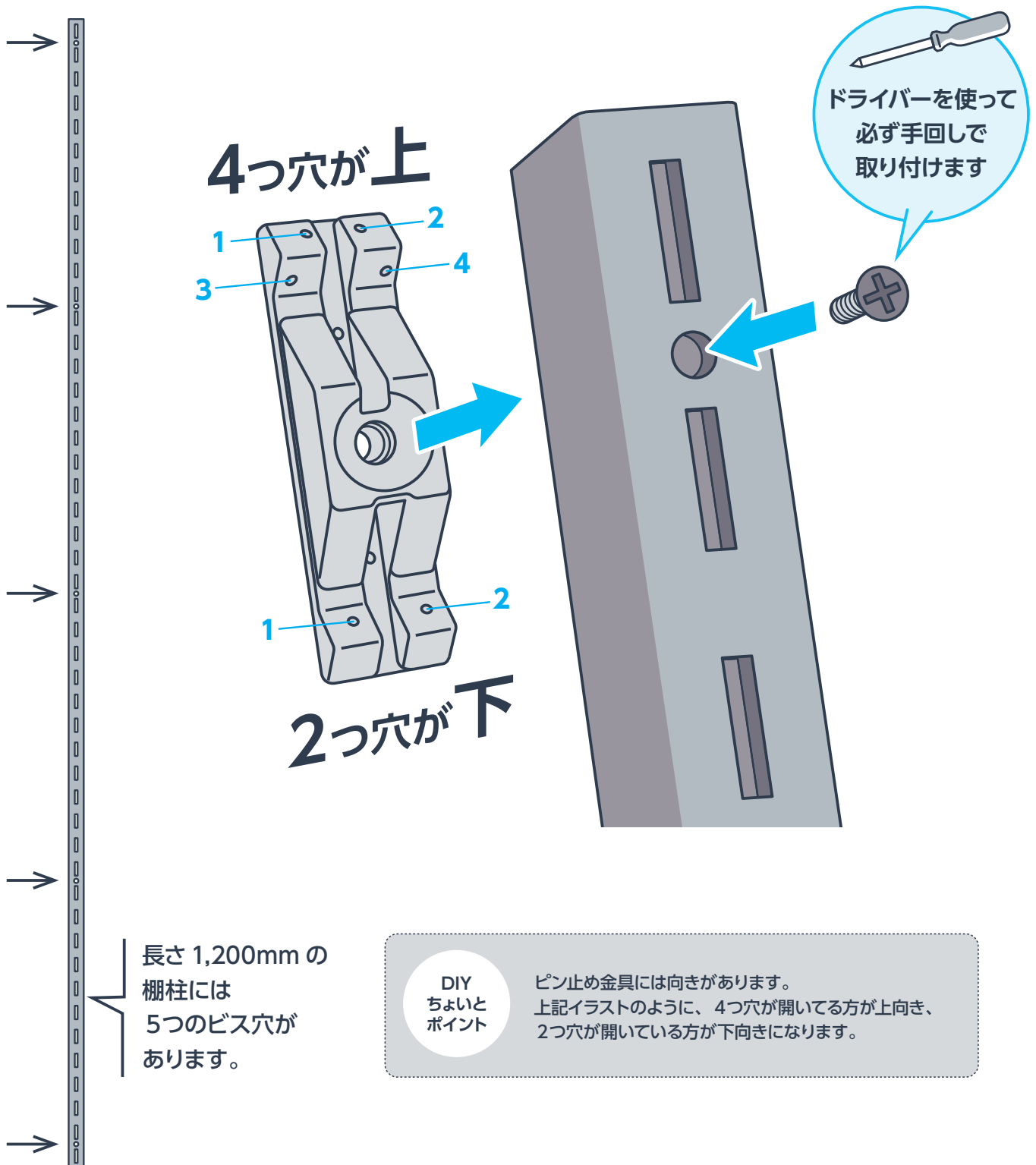
step 2 壁にガイドラインをひく

- ⑨天面の水平が出せたら今度は右側の棚柱の垂直も出します。⑦の5円玉を貼って吊るすところからそれ以降の工程と同じ作業を行います。



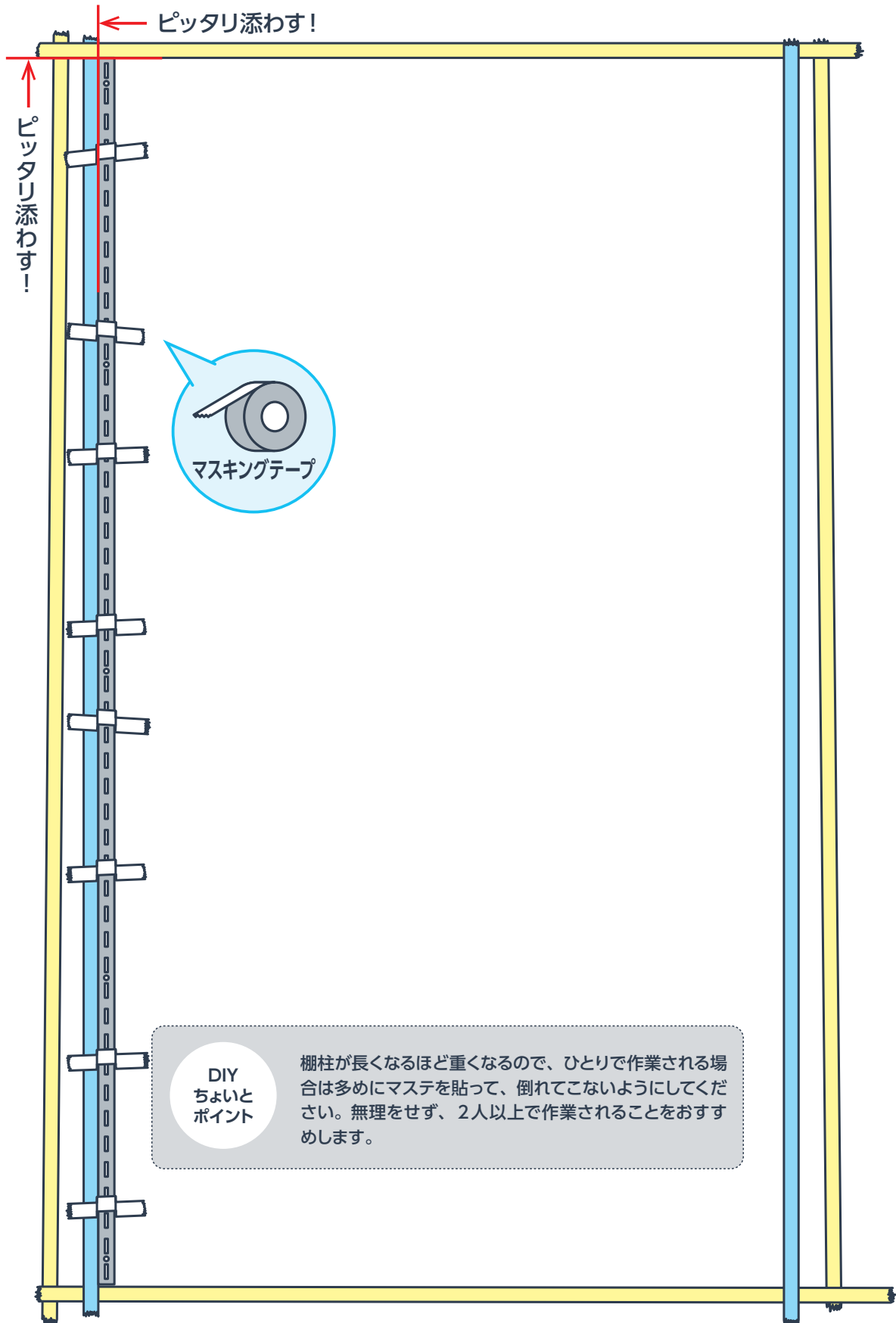
step 3 棚柱を壁に固定する

- ① 棚柱のビス穴全てに (ピン止め金具の) 付属のビスを使ってピン止め金具を仮固定します (使用する棚柱2本とも取り付けてください)。



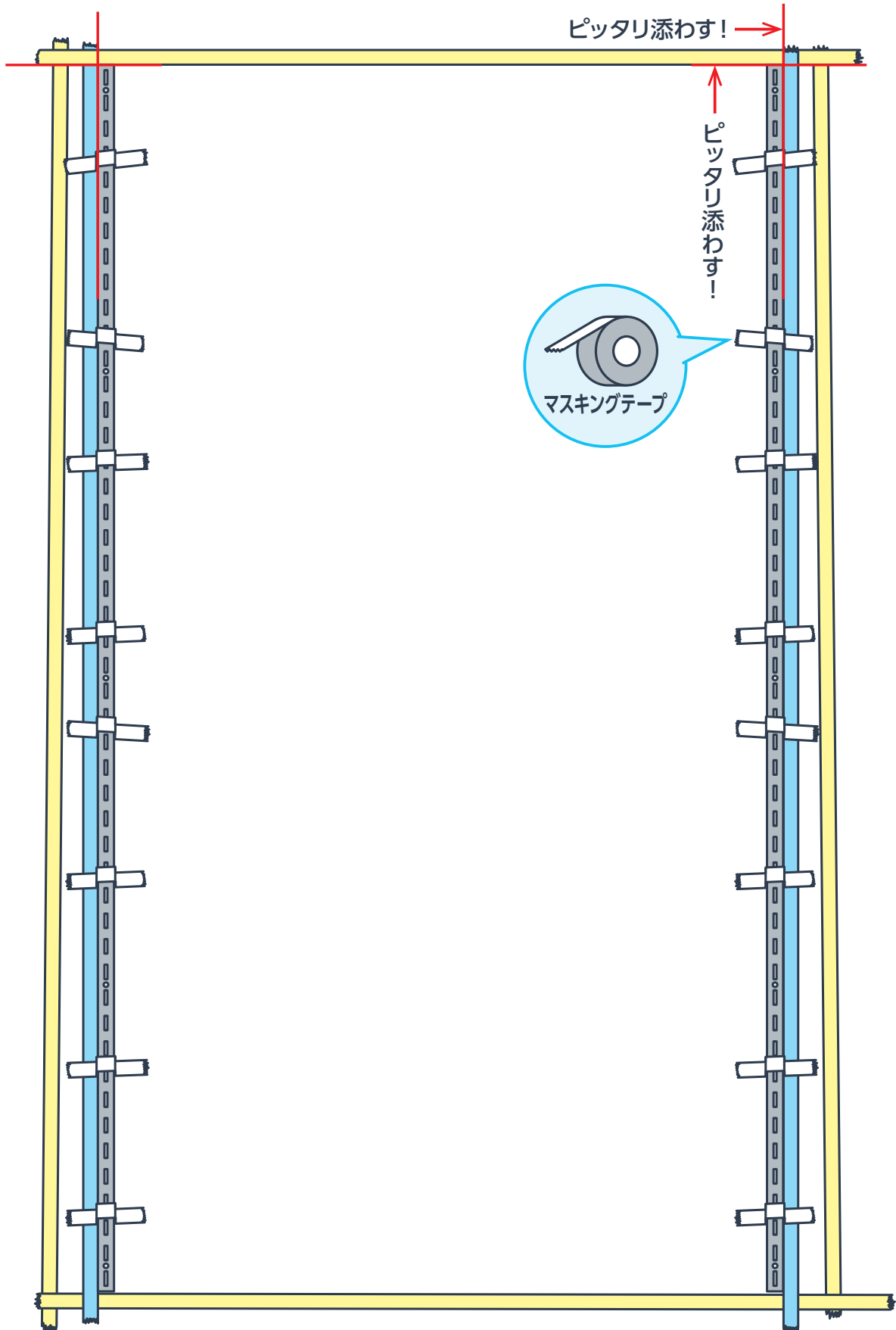
step 3 棚柱を壁に固定する

- ② 向かって左の棚柱から壁に仮固定していきます。
棚全体の頂点と五円玉で垂直を出したマステに棚柱をピッタリ添わせ、動かないようにビス穴以外の数箇所をマステで固定します。



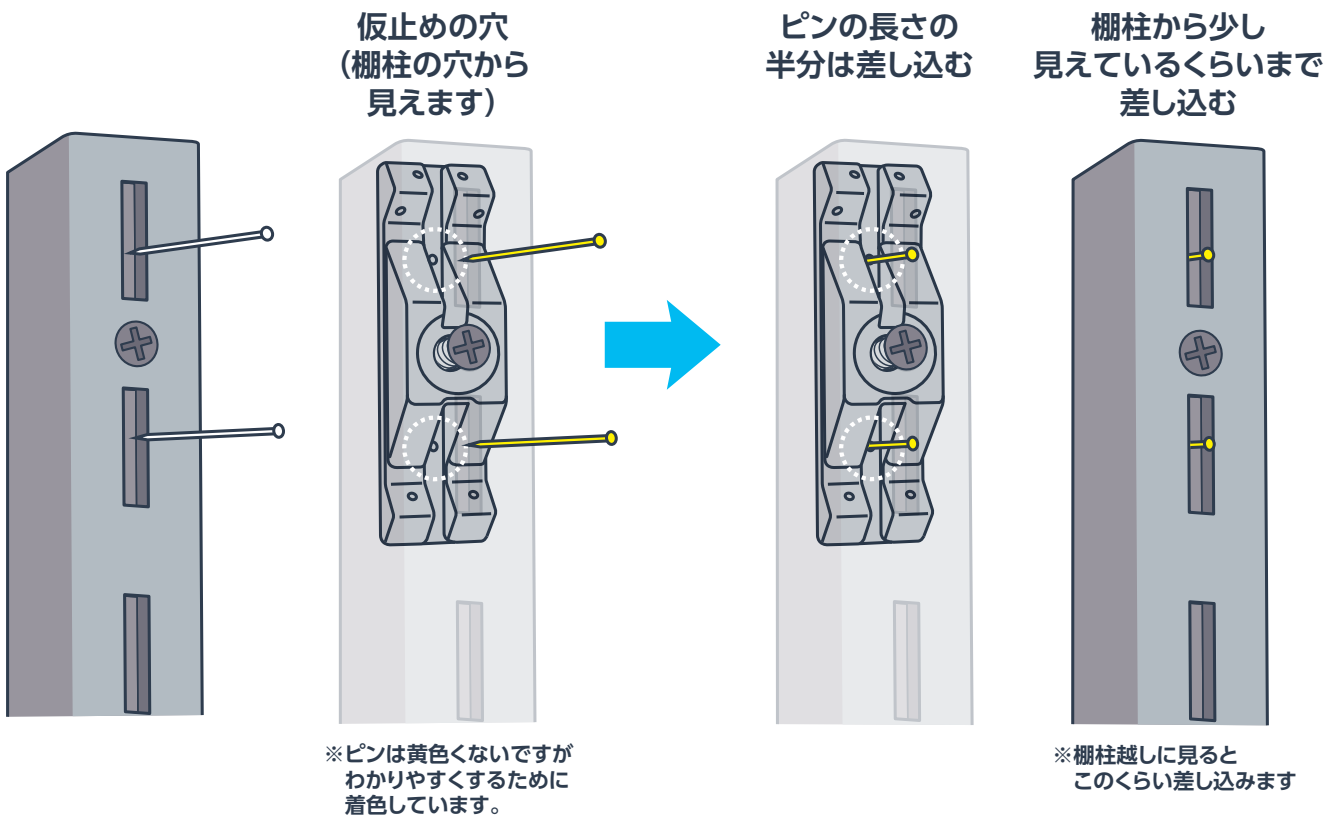
step 3 棚柱を壁に固定する

③ 右側に取り付ける棚柱も同じようにマステで固定します。



step 3 棚柱を壁に固定する

- ④ 硬貨やプッシュマジック、クギ押しくんなどを使って、ピン止め金具に付属されている石こうピンでひとつにつき2箇所、仮止め用の穴に差し込み（このピンは後ほど抜きますので、完全に差し込まず、棚柱と面になるくらいで止めておきます。）仮固定します。棚柱についている全てのピン止め金具に行います。

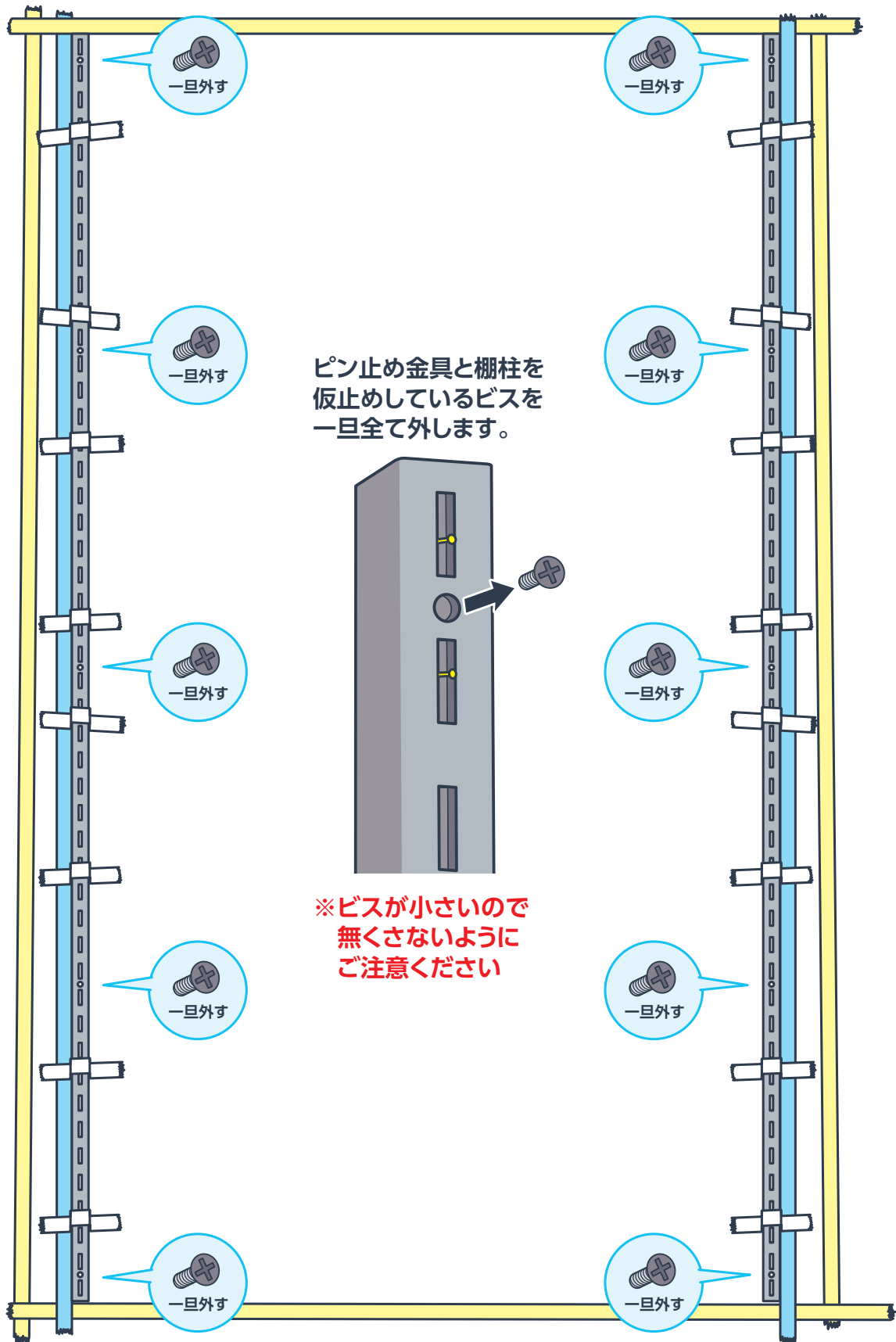


DIY
ちよいと
ポイント

ピンが「先だけ」など、少ししかささっていないと本固定までに抜けてしまうことがあるので、棚柱から少し見えているくらいまで差し込んでください。

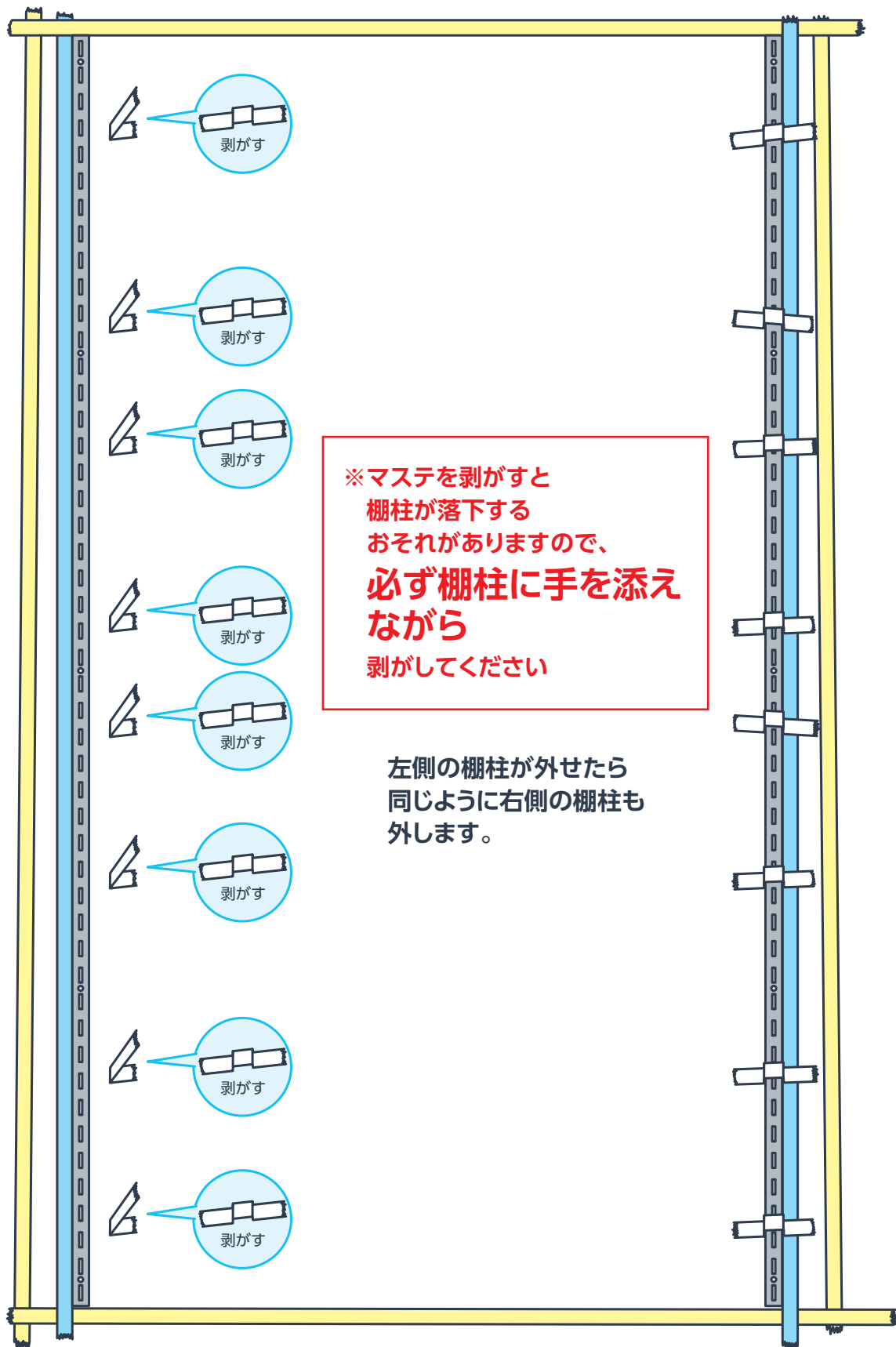
step 3 棚柱を壁に固定する

- ⑤ 仮固定ができれば、一旦棚柱のビスを全て外します。
(ビスが小さいので無くさないようにご注意ください)



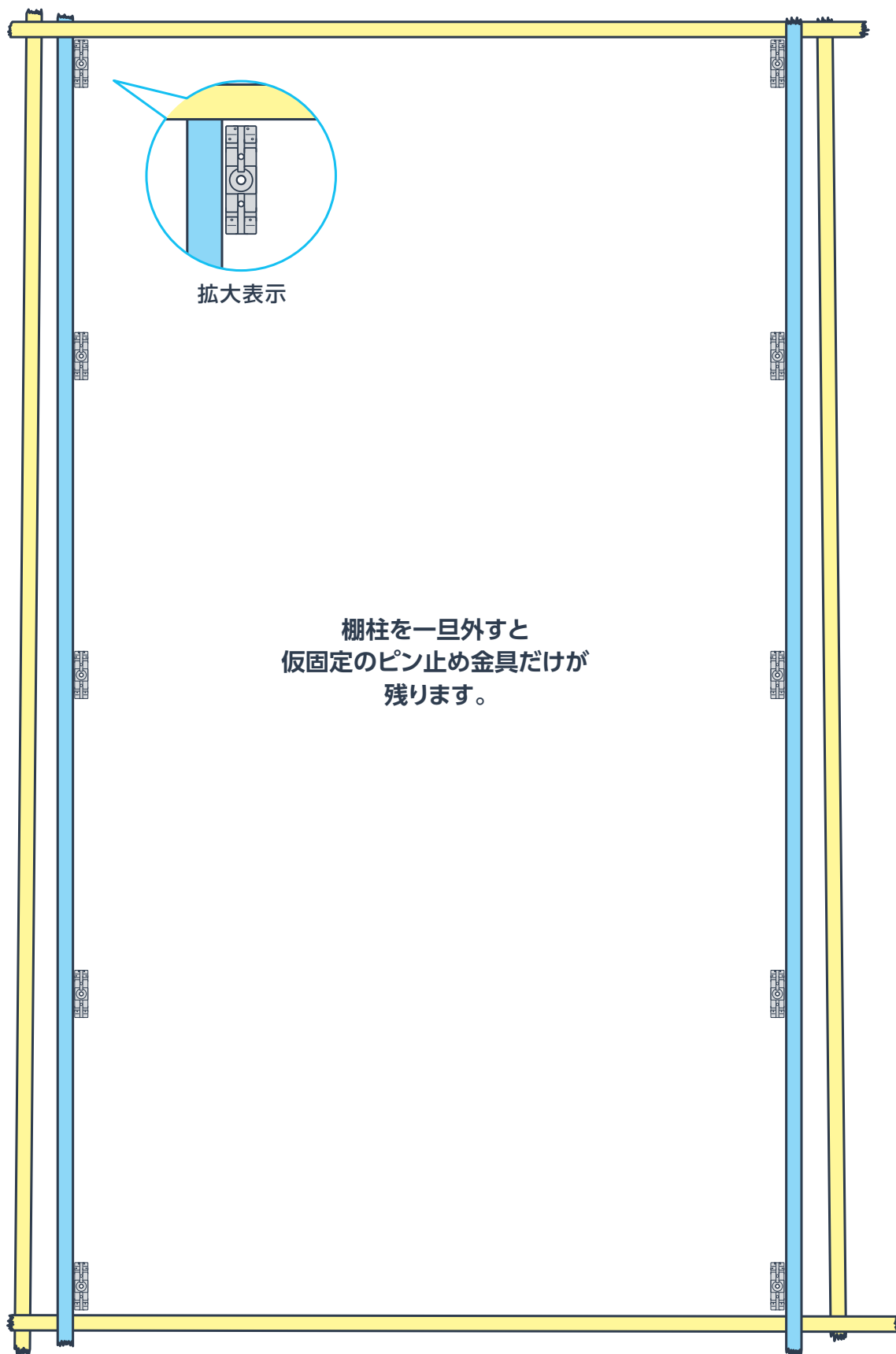
step 3 棚柱を壁に固定する

⑥ 棚柱のマステを片方ずつ外し、棚柱を左右とも外します。



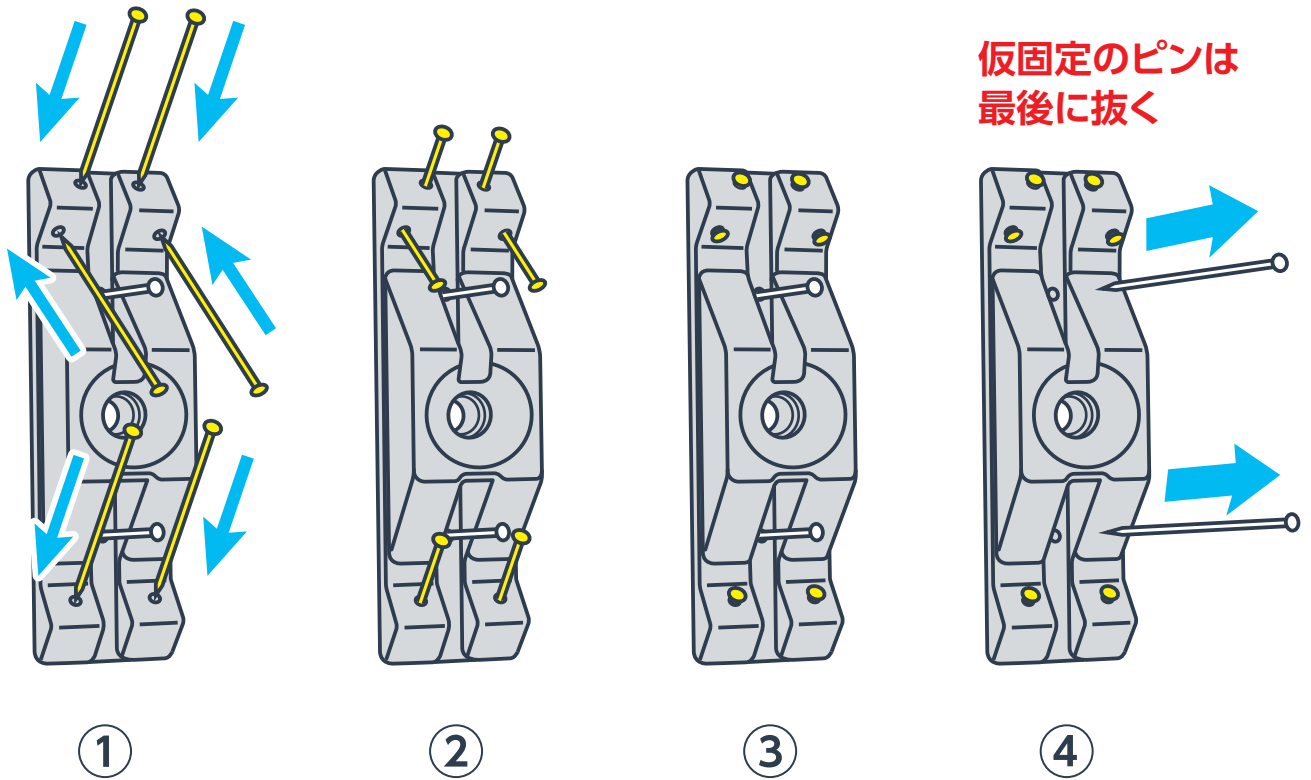
step 3 棚柱を壁に固定する

- ⑦ 仮固定したピン止め金具を本固定していきます。
ピン止め金具ひとつにつき計6本のピンで固定します（詳しくは次のページへ）。



step 3 棚柱を壁に固定する

⑧ここからは、仮固定しているピン止め金具を、残りのピンを使って本固定していきます。



ピンはプッシュマジックもしくはクギ押しくん (あると便利な道具)、もしくは硬貨を使って差し込んでいきます。

③のように6箇所とも差し込み終わったら、仮固定用のピン2本をラジオペンチを使って引き抜きます。抜いたピンは安全な場所に保管してください。

上記の作業を、全てのピン止め金具に行います。

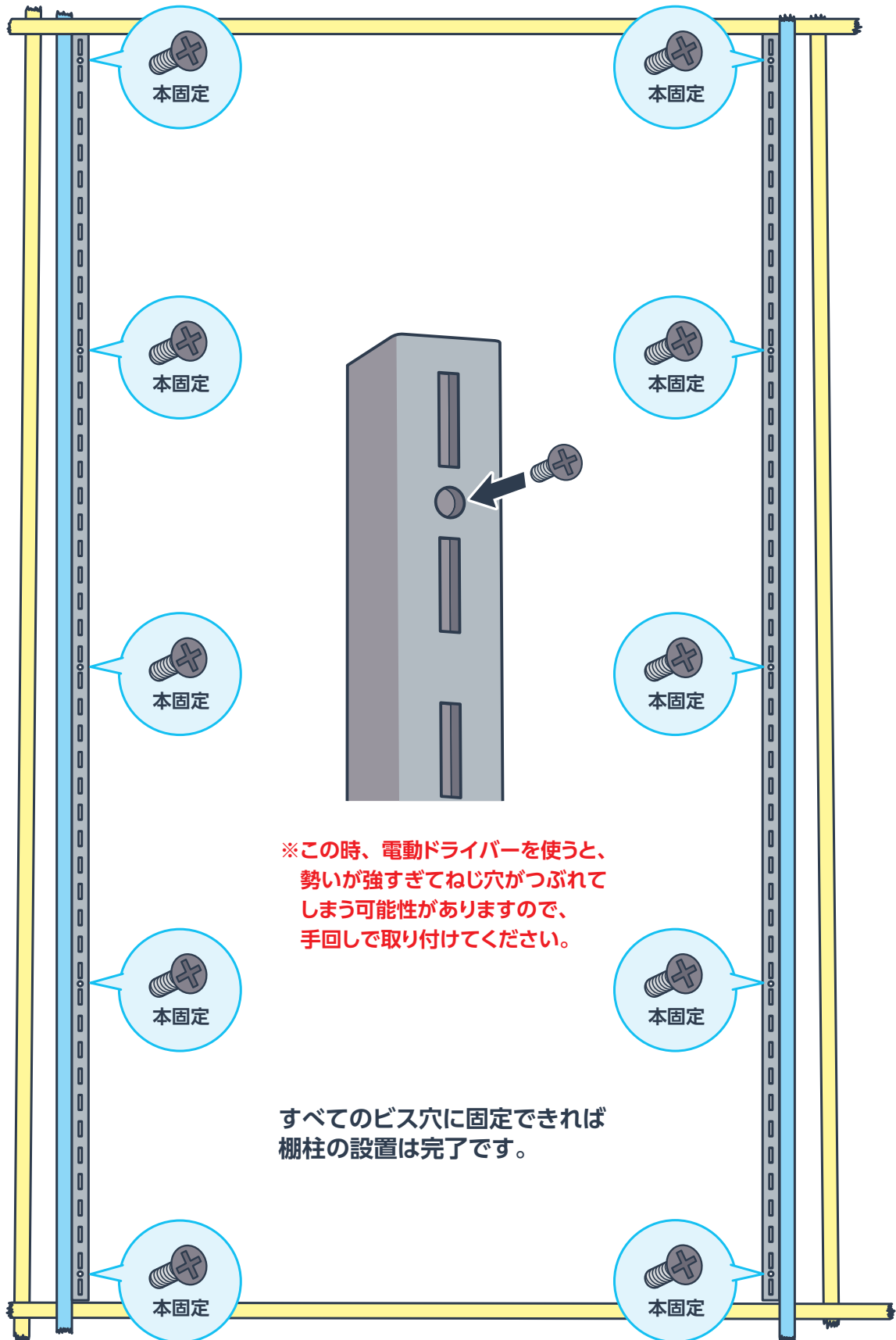
DIY
ちょっと
ポイント

ピンが入りづらい時は、小さいハンマーなどで軽く2~3回叩き、少し入ったらプッシュマジック (なければ硬貨) で差し込むと入りやすくなります。

step 3 棚柱を壁に固定する

⑨次に、棚柱を本固定します。

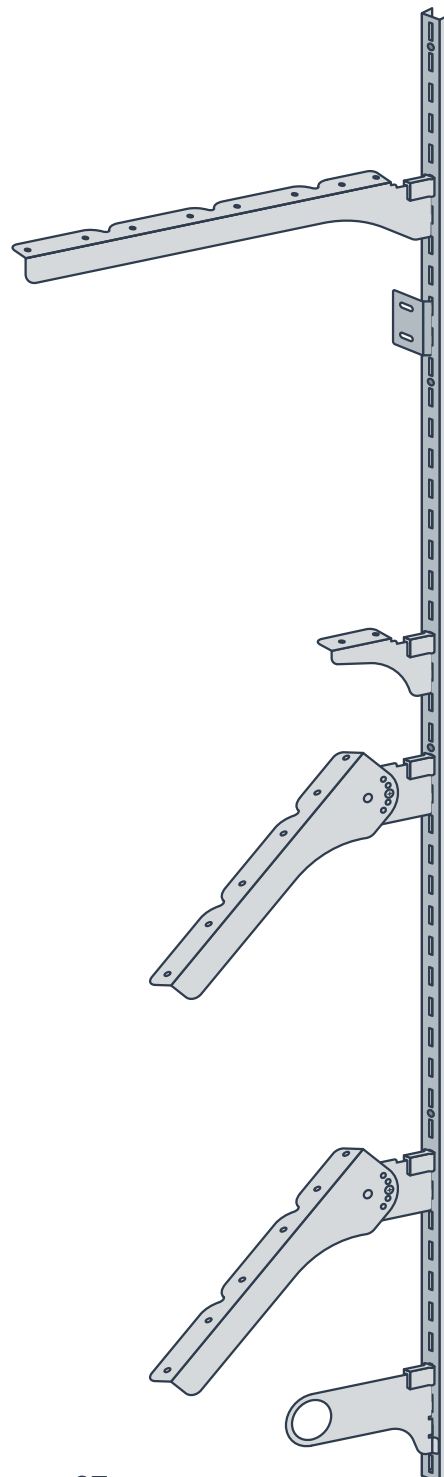
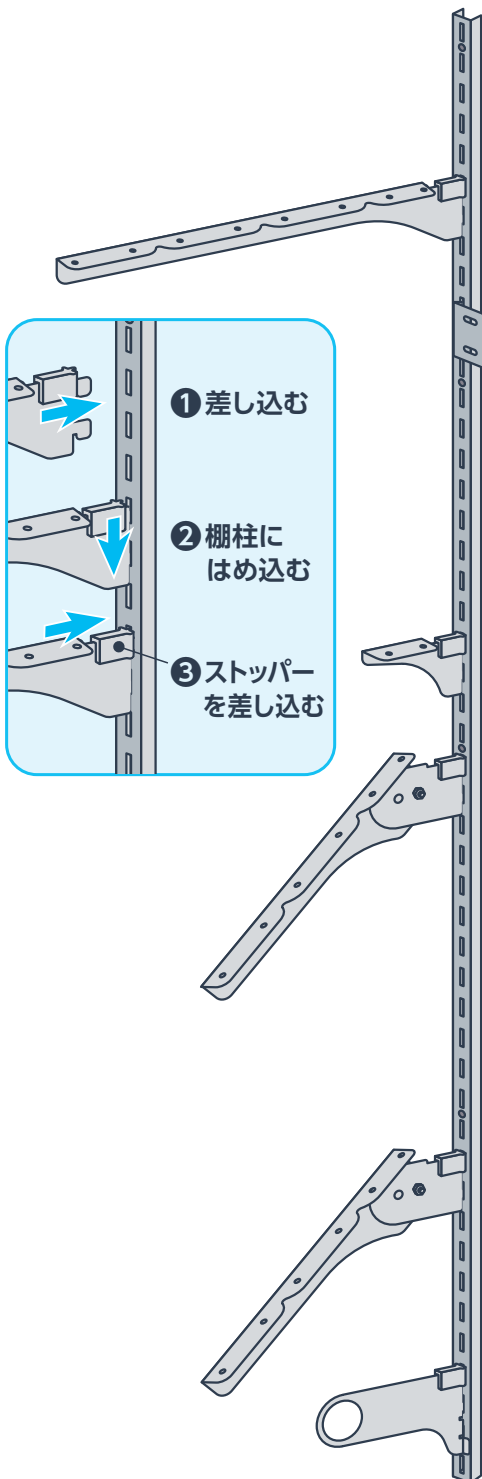
ピン止め金具の上に棚柱をかぶせ、一旦外したビスをプラスドライバーで、上から順に取り付けていきます。



step 4 棚板と棚受を合体させる

- 1 取り付けした棚柱に、それぞれ計画した棚受を実際に差し込んで取り付けます（左右ある棚受は必ず対になるようにつけてください）。ストッパーもしっかり差し込んで落ちないか確認してください。

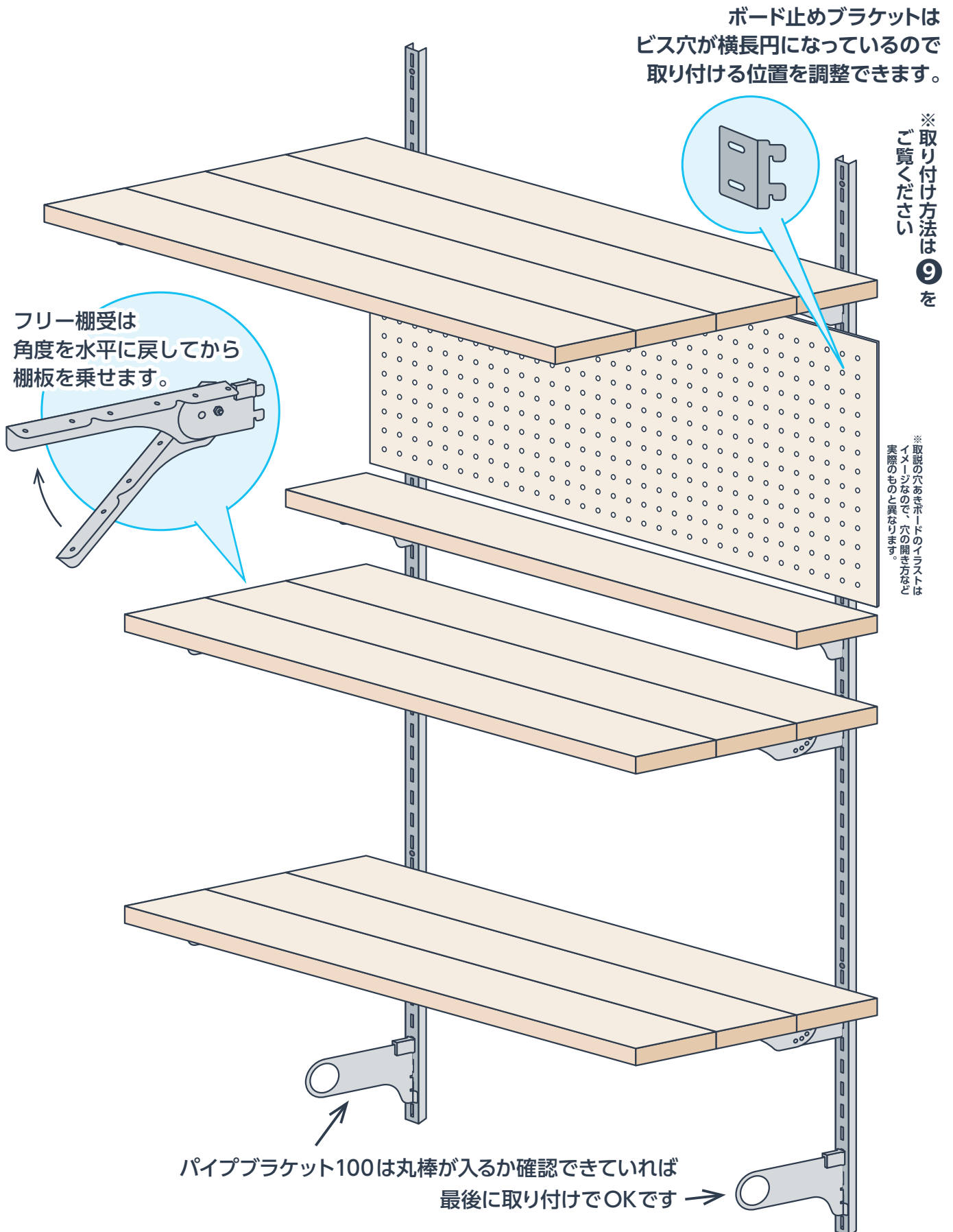
※イラストは壁に棚柱を取り付けたあと、斜め上から見るようなイメージで描いています。壁に貼ったマステが描かれていませんが、完成まで貼ったままでOKです。



フリー棚受の角度は止めたい角度に棚受を動かして、固定したい角度で付属のボルトとナットで固定します。裏からナットを指でつまんだ状態でドライバーを使い手回しで緩みがない程度に締めたら完了です。

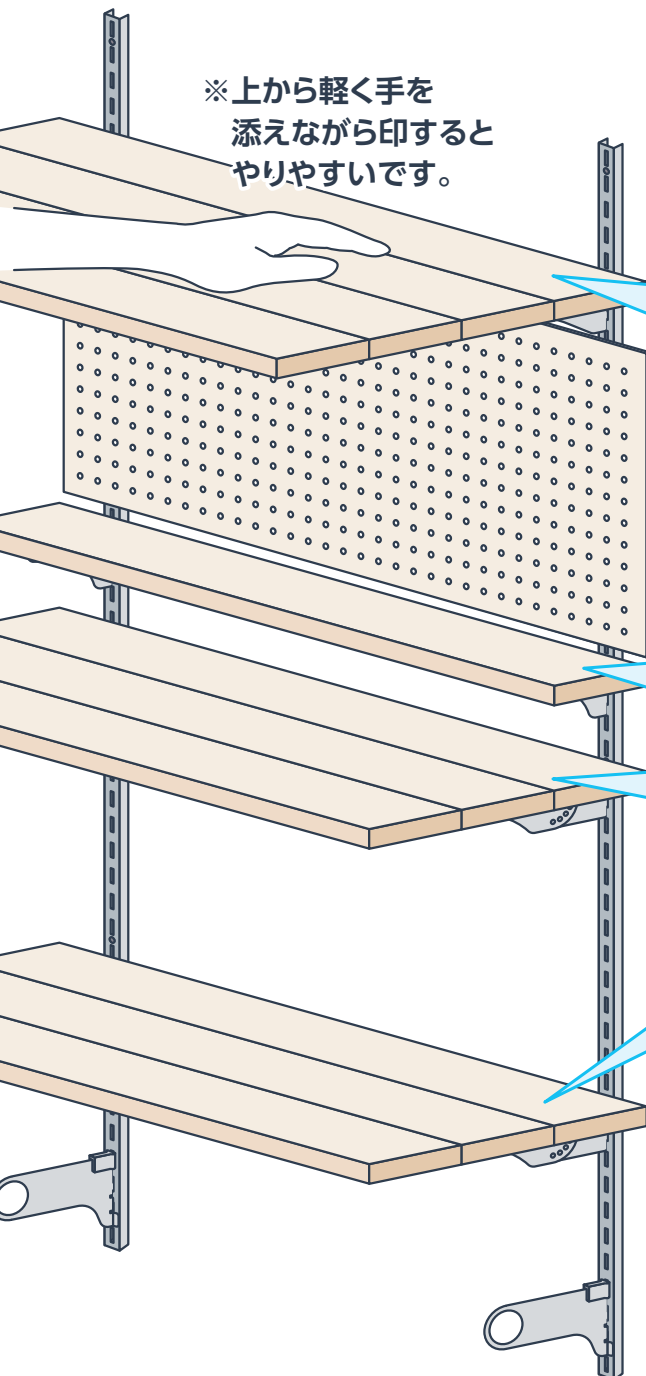
step 4 棚板と棚受を合体させる

②次に、棚板も乗せてみます。もしこの段階で棚板がカット出来ていなければ、900mm 幅にカットして乗せます。



step 4 棚板と棚受を合体させる

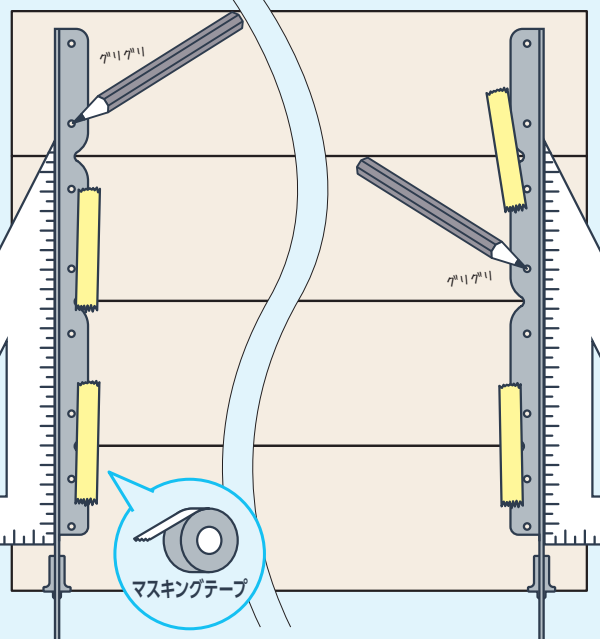
- ③ 棚板の位置を決める際、棚柱に接するようにすると位置を決めやすいですが、棚受と棚板をビス止めする際に位置がズレると棚受けが入らなくなるので、棚柱から2~3mmほど離すことをおすすめします。
- ④ 棚の位置が決まったら、棚板が乗っている状態でビス穴に印をしたいので、棚受が棚柱からまっすぐ垂直になり（三角定規もしくは差し金を当てて確認すると良いです）、棚板がはみ出るサイズが左右とも同じことを確認したら、棚受けが動かないようにマステで仮止めし、えんぴつなどを使ってビス穴に印をします。



※上から軽く手を添えながら印するとやりやすいです。

※1×4材ではなく、1枚板を取り付ける場合は、棚受ひとつにつき端と端の箇所ほど固定すればOKです。

(棚板を乗せた状態を下から見ているところ)
ビス穴の箇所すべてに鉛筆やマジックなどで印をつけます。



マスキングテープ

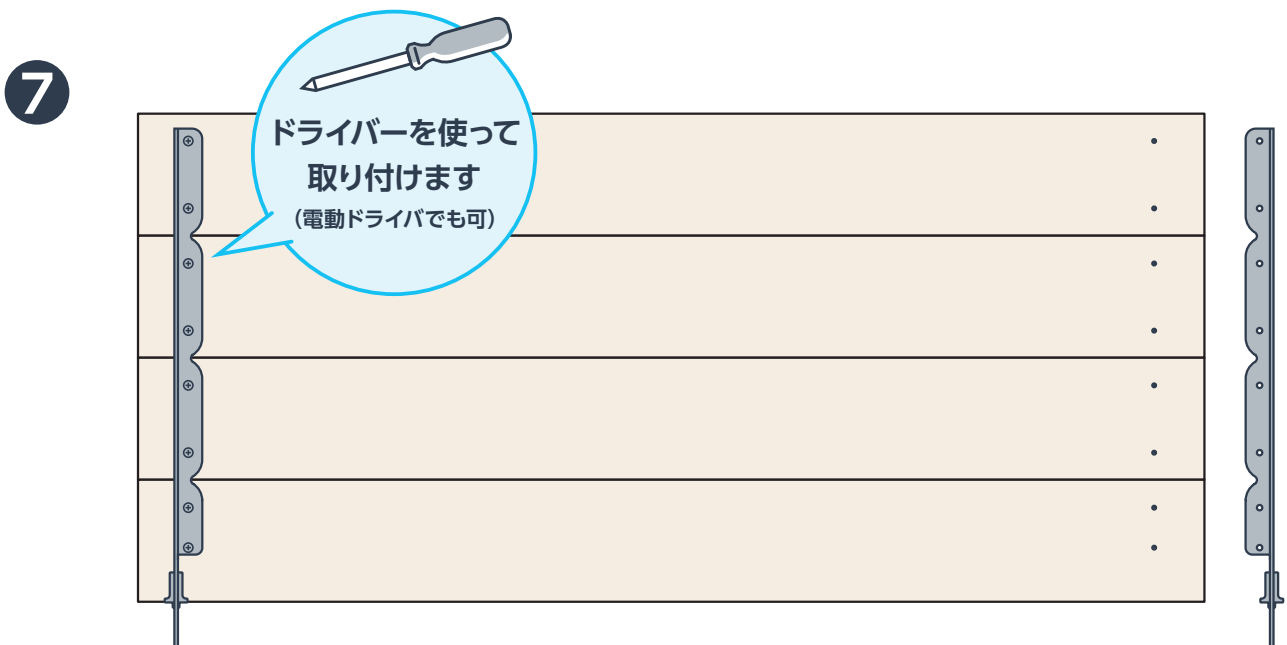
DIY ちょっと ポイント

同じサイズの木材をたくさん使う場合、どれがどの棚板だったかわからなくなることがあるので、その場合棚板にマステを貼って、油性マジックで「●段目 奥から●番目の板」など、メモしておくことをおすすめします。

また、上の棚の印を書く時には、脚立を使って足元が安定した状態で作業してください。

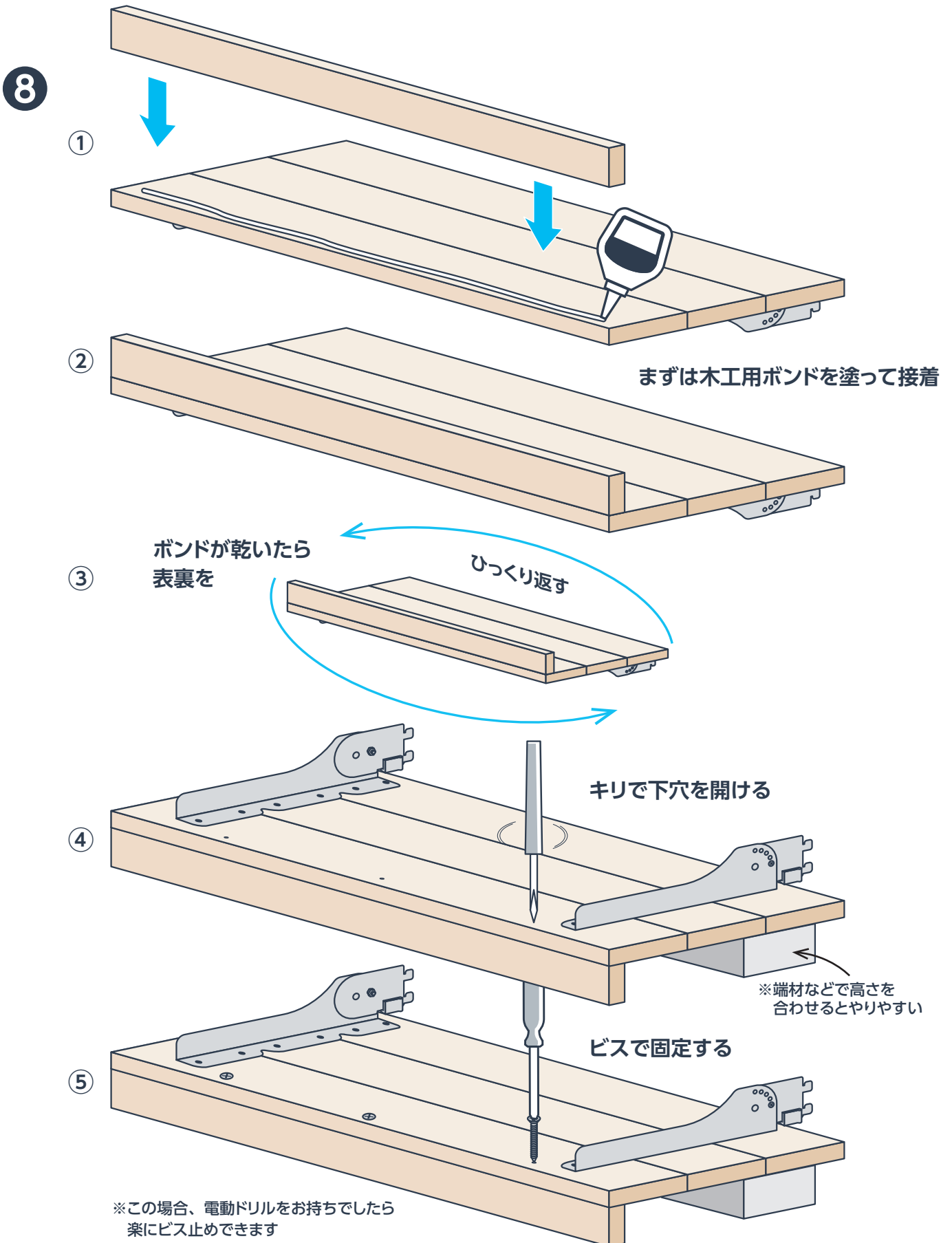
step 4 棚板と棚受を合体させる

- ⑤ 棚板と一緒に棚受ごと棚柱から一旦外し、棚板に印をした面が上に向くよう裏返して、平らな場所に置きます (場所は作業台の上や、床の場合は作業シートなどを敷いて作業されることをおすすめします)。
- ⑥ マステで仮止めした棚受を外し、印した全てのビス穴にキリで下穴をあけます。
- ⑦ 棚受を再度ビス穴に合うように乗せて、プラスドライバーを使って棚受に付属のビスで固定します。他の棚受も同じように⑤⑥⑦と作業し、全ての棚板をビスで固定します。



step 4 棚板と棚受を合体させる

⑧フリー棚受につける靴すべり防止の木材は、棚受を取り付けたあとに、下記のように取り付けます。

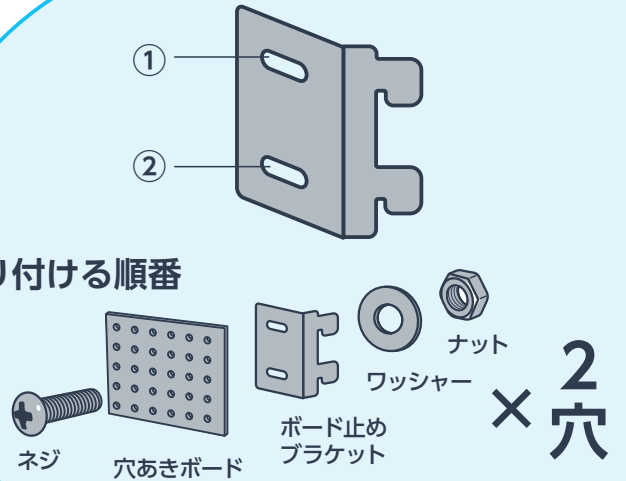


⑨ ボード止めブラケットは、穴あきボードに開いた穴を使って取り付けます。

9

ボード止めブラケットの
横長に開いた穴を、
穴あきボードの穴に
うまく合わせて
別売りのネジとナットで
取り付けます。

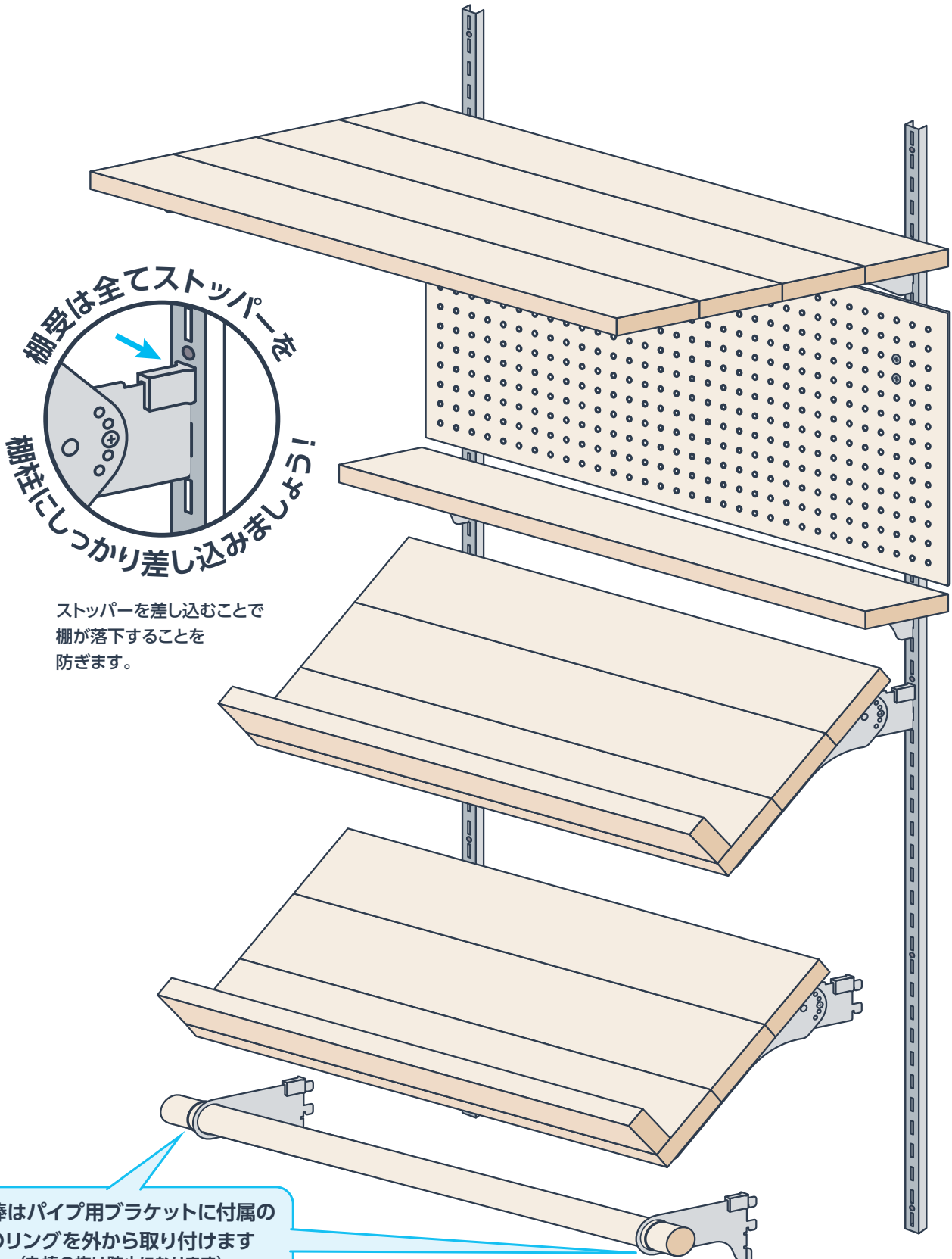
取り付ける順番



※取説の穴あきボードのイラストは
イメージなので、穴の開き方など、
実際のものとは異なります。

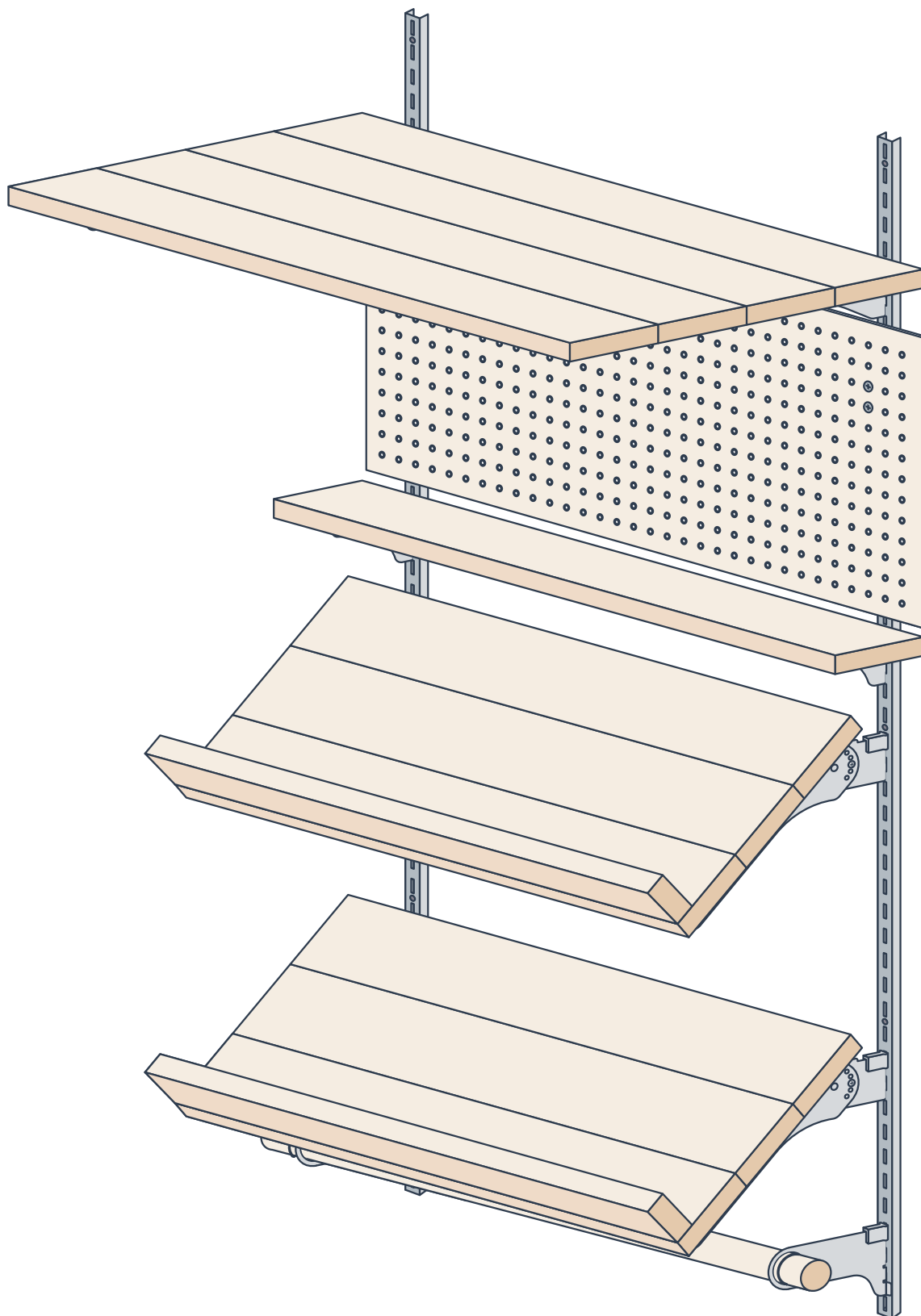
step 5 棚受を棚柱に差し込んで完成!

- ①棚受と棚板をビスで止められたら、それぞれ取り付けたいところ(棚柱の穴の位置)に差し込み、しっかりとストッパーも差し込んで棚を固定します。



完成！

②壁のマスキングテープを全てはがしたら、完成です！



使用上のご注意

必ずお読みください

棚柱や棚受シリーズの、製品ラベルやタグに記載されています注意事項の内容で木ネジが出てきますが、基本的に木ネジで固定した棚柱に取り付けることを想定しています。ピン止め金具を使ってピラシエル棚を制作される場合は、ピン止め金具を使用した耐荷重を守ってご使用ください。

■棚柱、ボード止めブラケットについて

- 棚柱は必ず木ネジが効く壁面に取り付けて下さい（石膏ボードや薄い合板等の強度がない壁面には木ネジが効きません。壁面の裏側にある間柱（壁の裏側にある木材の柱のこと）等、木ネジが効く箇所に取り付けて下さい）。
- 壁面の状態により、耐荷重は異なります。重量物をのせてのご使用はしないで下さい。

■ピラシエル棚受について

- 棚受を取り付ける棚柱は、ピラシエル専用の棚柱を使用し、木ネジが効く壁面に取り付けてください。
- 安全荷重1本あたり 10kg（棚柱がビスで固定されている場合に限りです。ピン止め金具を使用される場合は、左右の棚受と棚板の重さ、乗せるものの重量を合わせて 5kg まで、棚柱をビスで固定した場合とピン止め金具を使って固定した場合とは異なります）。

■1×4 ピラシエル棚受、パイプ用ブラケットについて

- 棚受を取り付ける棚柱は、必ず木ネジが効く壁面に取り付けてください（石膏ボードや薄い合板等の強度がない壁面には木ネジが効きません。壁面の裏側にある間柱（壁の裏側にある木材の柱のこと）等、木ネジが効く箇所に取り付けてください）。
- 壁面の状態により、耐荷重は異なります。重量物を乗せてのご使用はしないでください。
- 安全荷重 1 本あたり 10kg（棚柱がビスで固定されている場合に限りです。ピン止め金具を使用される場合は、左右の棚受と棚板の重さ、乗せるものの重量を合わせて 5kg まで、棚柱をビスで固定した場合とピン止め金具を使って固定した場合とは異なります）
- 最大 90cm 幅を目安に使用してください（P6 参照）。
- サイズ内でご使用ください。

■フリー棚受けについて

- 角度を固定するための付属の小ねじ・ナットはしっかりと締め付け、定期的に締め付け状態を確認してください。
- 角度調整は必ず棚柱から外した状態で行ってください（棚板を取り付けている場合）。
- 安全荷重1本あたり 10kg（棚柱がビスで固定されている場合に限りです。ピン止め金具を使用される場合は、左右の棚受と棚板の重さ、乗せるものの重量を合わせて 5kg まで、棚柱をビスで固定した場合とピン止め金具を使って固定した場合とは異なります）

■ピン止め金具について

- 耐荷重は棚1枚で 5kg（左右の棚受と棚板の重さ、乗せるものの重量を合わせて 5kg まで）、棚全体合計で 20kg までです。ビス止めしたときと異なりますのでご注意ください。
- 棚の先端に荷重がかかり過ぎないようにご注意ください。
- 耐荷重内で使用してください。
- 貴重品や壊れやすい物は掛けないでください。
- ピンの先は鋭利です。指などにささらないようにご注意ください。
- 取り外す際はピンを全て抜いてください。金具ごと引っ張ると壁を傷つけることがあります。
- 本来の用途以外には使用しないでください。
- 商品は改良の目的から予告なく仕様変更する場合があります。予めご了承ください。